DENON

DVD オーディオ／ビデオプレーヤー

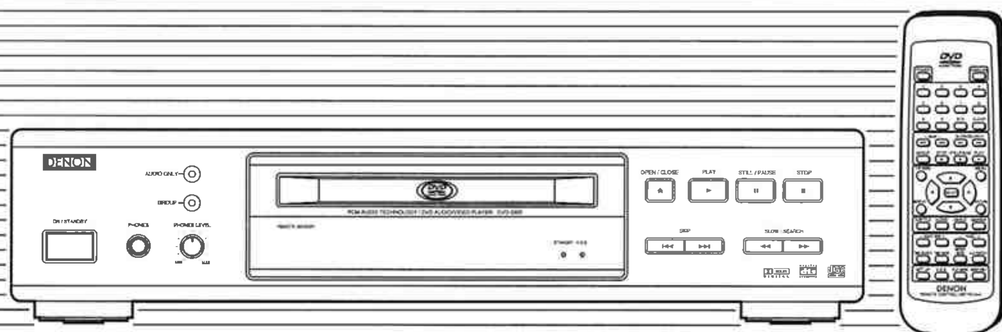
DVD-3300

取扱説明書

DVD AUDIO/VIDEO

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

COMPACT disc DIGITAL AUDIO



本機の特長

高音質を実現

192kHz/24bit オーディオ D/A コンバーターを搭載し、DVD のハイクオリティ・サウンドを忠実に再現します。また、電源からのノイズに強いバーチャル・バッテリー・オペレーション電源回路の採用により、クリアな音質でお楽しみいただくことができます。

高画質を実現

10bit ビデオ D/A コンバーターやコンポーネント映像出力端子を装備し、プロ仕様の高級モニターにも耐えられる鮮明な画質を実現します。さらに、画質調整機能を使って映画館のような映像イメージ（シネマ画質）などを楽しむこともできます。

多彩な便利機能

音声や字幕の言語を選んだり、1 つの場面をいくつかの視点で見るなど、DVD にはさまざまな機能があります。本機はそれらに対応した上で、さらに多彩な便利機能を備えています。

お部屋を映画館に

ドルビーデジタル／DTS デコーダーを内蔵していますので、本格的なホームシアターシステムを実現することが可能です。



本機で再生できるリージョン番号

リージョン番号とは、発売地域ごとに DVD-Video とプレーヤーに割り当てられた番号です。

本機のリージョン番号は 2 です。

本機は、「2」（または 2 を含むもの）と、「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。







など

もくじ

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい、「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

電源コード

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる





- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

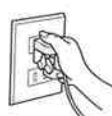
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



- 感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

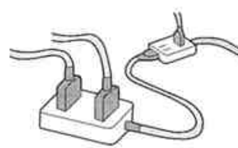




- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



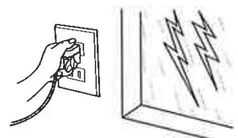


- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない





- 感電の恐れがあります。

使用方法

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない



- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

以下のようなときは電源プラグを抜く



- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠注意

設置・接続について

以下のことを守り正しく設置する



- 不安定な場所に置かない
- 上に大きなもの重いものを載せない
- スピーカーを壁や天井に取りつけない

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは、特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

使用方法

コードを接続した状態で移動させない





- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスク挿入口の奥には手を入れない



- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

乾電池

電池は正しく取り扱う



- ＋と－は正しく入れる
- 長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使いかたをしない



- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水・火の中へ入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

本機で再生できるディスク

○ 再生できるディスク

お手持ちのディスクの種類が分かりにくい場合は、ロゴマークを目安にしてください。

ロゴマーク	ディスク名称	ディスクの大きさ	映像方式	リージョン番号
DVD AUDIO	DVD オーディオ	12cm 及び 8cm	NTSC 及び *PAL	
DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD ビデオ	12cm 及び 8cm	NTSC	2 及び ALL
COMPACT disc DIGITAL VIDEO	ビデオ CD	12cm 及び 8cm	NTSC	
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽 CD	12cm 及び 8cm		

＊音声のみ再生可能

✕ 再生できないディスク

- **CD-R、フォトCD**
- **リージョン番号が2、ALL以外のDVDビデオ**
- PAL方式のディスク（DVDオーディオは音声のみ再生可能）
- その他（上記の一覧表のロゴマークがないもの）

SACD　DVD-ROM　DVD-R/DVD-RAM　CD-ROM
VSD　CDV　CD-G　CD-RW　DVD＋RW　CVD　SVCDなど

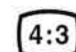
お願い

CD-R、フォトCDは絶対に再生しないでください。ディスクの中身が壊れる恐れがあります。

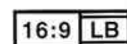
その他の記号について

DVDのケースには、左記以外にもさまざまな記号が表示されています。
以下に代表的な記号と意味を記しておきますので、参考にしてください。

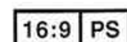
●画面サイズ



4：3の標準テレビサイズ。



ワイドテレビでは16：9のワイドサイズに、標準テレビでは上下に黒い帯のある画面になります。



ワイドテレビでは16：9のワイドサイズに、標準テレビでは左右をカットした4：3になります。

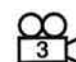
●字幕の言語



1：日本語字幕
2：英語字幕

字幕の言語が選べます。（図の場合は2言語）

●アングル



1つの場面をさまざまな視点や角度で見られるマルチアングル付きであることを示しています。（図の場合は3アングル）

●音声トラック（音声言語や信号タイプ）



音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド）
音声2：日本語（ステレオ）

収録されている音声トラック数を表わしており、好みで切り換えることができます。（図の場合は2音声）

本書で使用しているディスク記号について

ディスクの種類（DVDオーディオやCDなど）によって、使える機能が異なります。
本書では以下の記号を用いて、その説明箇所に当てはまるディスクを表わしています。

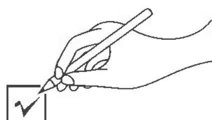


（例）
以下の場合は、DVDオーディオとDVDビデオでのみ操作できます。

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

付属品

最初に付属品を確かめてください。



□ **電源コード** ････････････････････････････ **1 本**



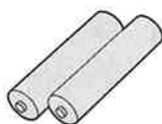
□ **映像／音声コード** ････････････････････････ **1 本**



□ **リモコン** ･･････････････････････････････ **1 本**



□ **リモコン用乾電池** ････････････････････････ **2 本**
単３形



□ **取扱説明書（本書）** ･･････････････････････ **1 冊**
□ **サービス網一覧表** ････････････････････････ **1 枚**
□ **保証書**
（梱包箱に貼り付けられています。）

お願い

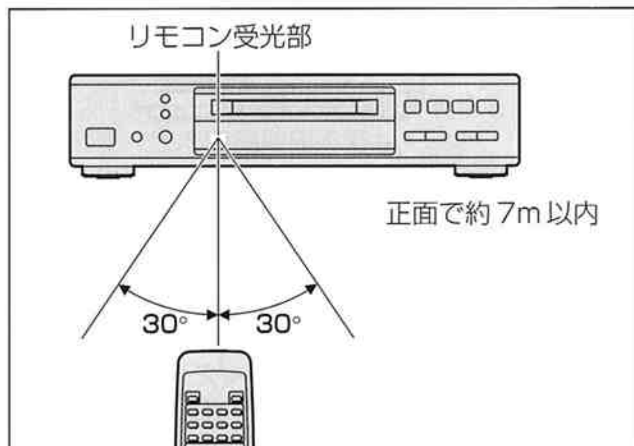
付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。

リモコンの準備

乾電池の入れかた



リモコンの使いかた



■使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意。

■故障防止のために

- 分解、改造をしない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たる所に放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

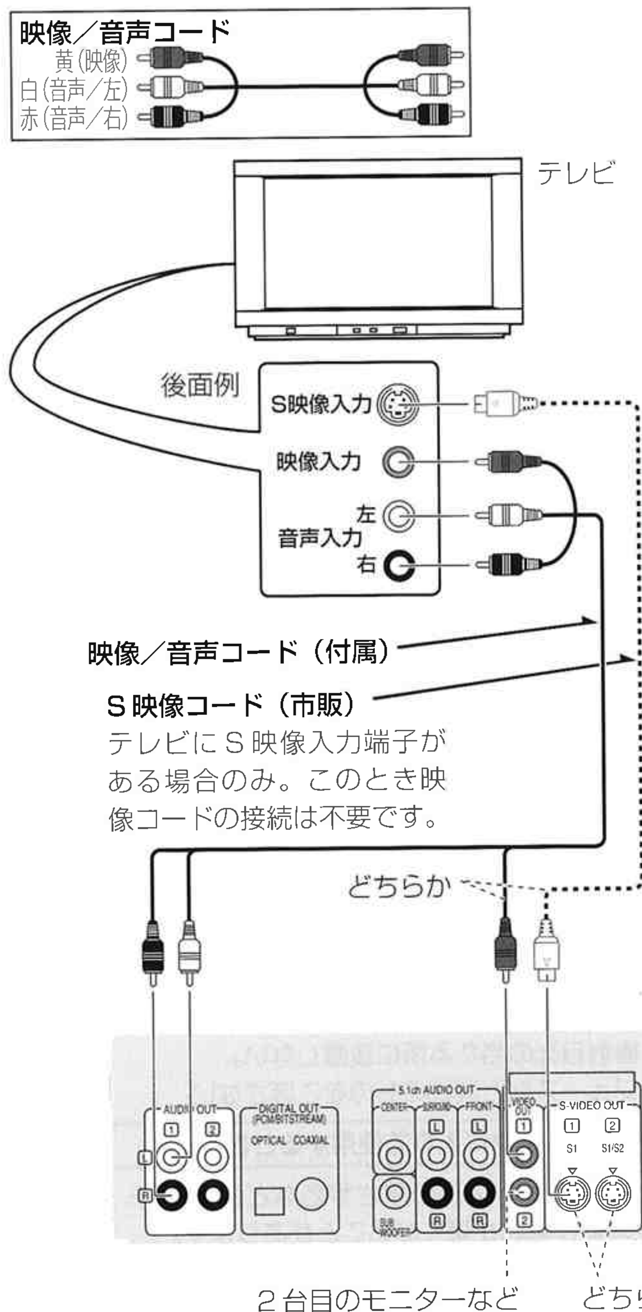
本体をラックに入れて使用するとき

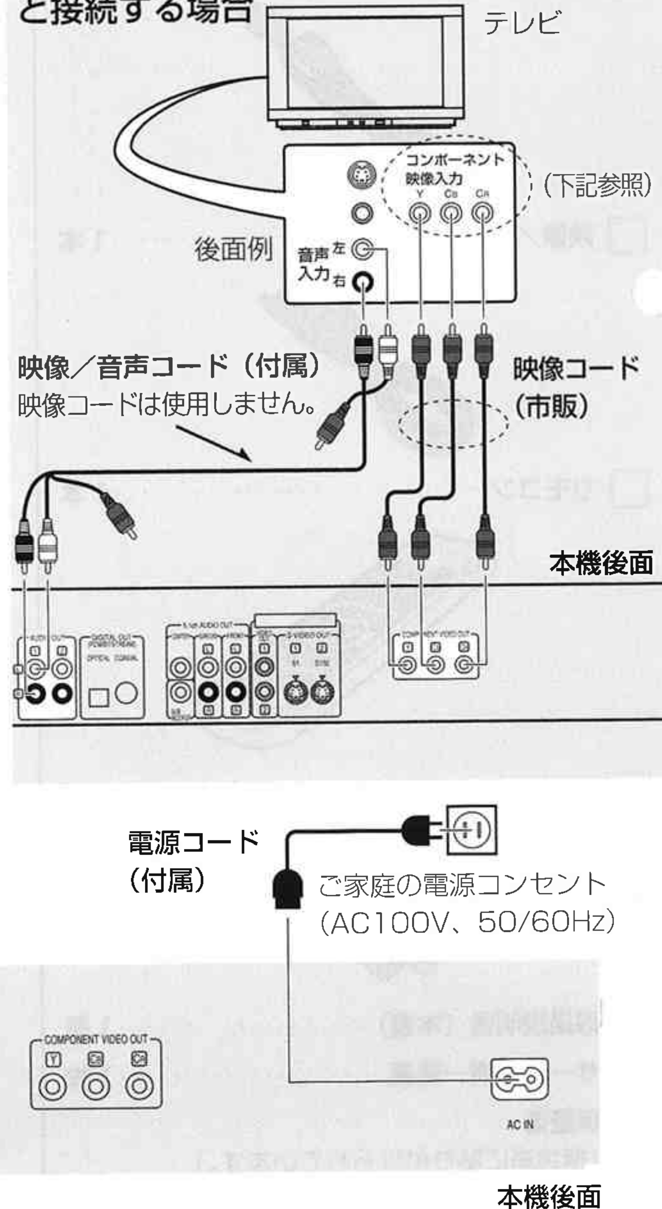
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作範囲が短くなることがあります。

テレビの接続

映像／音声入力端子のあるテレビ（AV、ワイド、ハイビジョン、プロジェクションなど）と接続します。モニターやプロジェクター（3管式、液晶など）の場合も音声以外の接続は以下のように行ってください。

お願い
- 接続時には各機器の電源を切ってください。接続機器の説明書も併せてお読みください。
- 本機を高温になる機器（アンプなど）の上に置かないでください。





S映像端子について

映像端子よりも高画質の映像を得ることができます。

S1：テレビの“S映像入力”またはワイドテレビの“S1映像入力”端子に接続する場合

S2：ワイドテレビの“S2映像入力”端子に接続する場合

（⇒S1、S2については、39ページの「6 S端子出力S1/S2のモード」をご参照ください。）

コンポーネント映像端子について

S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる（Y、P_B、P_RやY、B-Y、R-Yなど）場合がありますので、そちらの説明書もご覧ください。

お知らせ

ハイビジョンテレビの場合、DVDに対応していないコンポーネント映像入力には接続しないでください。

ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合の接続と設定を説明しています。
DVD の高音質を楽しむには、40 ページからの接続・設定を行ってください。

設定

テレビの種類により以下のように設定してください。工場出荷時は標準テレビ（画面サイズ4：3のブラウン管）設定です。

本機を操作する前に
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ 1 など）



[RETURN] ボタン
1 つ前の画面に戻るとき押します。

番号ボタン
右の手順３～５の項目は番号ボタンでも選べます。

1 [ON/STANDBY] を押して
電源を入れる
(スタンバイランプが消灯)

本機表示部
Welcome

2 [SET UP] を押して
初期設定画面を表示させる

テレビ

1 ディスク言語
2 視聴制限　レベル 8
3 画面メニュー言語　日本語
4 オンスクリーン
5 FLディマー　明
6 接続するTV　4：3
7 デジタル出力
8 スピーカー設定　マルチ チャンネル
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

3 カーソルボタン（▲▼）で
「6 接続する TV」を選ぶ

1 ディスク言語
2 視聴制限　レベル 8
3 画面メニュー言語　日本語
4 オンスクリーン
5 FLディマー　明
6 接続するTV　4：3
7 デジタル出力
8 スピーカー設定　マルチ チャンネル
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

[SELECT] を押すと、次の画面に進みます。

4 カーソルボタン（▲▼）で
接続したテレビの画面サイズを選ぶ

接続するテレビの設定
1　4：3
2　16：9
リターンボタンで終了

「1」4：3（標準テレビ）
（工場出荷時）
「2」16：9（ワイドテレビ）

[SELECT] を押すと、次の画面に進みます。

5 カーソルボタン（▲▼）で
接続したテレビの種類を選ぶ

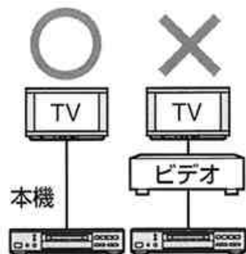
接続するテレビの設定
4：3
1 標準（ブラウン管テレビ）
2 3管式プロジェクター
3 液晶プロジェクター
4 プロジェクションテレビ
リターンボタンで終了

「1」標準（ブラウン管テレビ）
（工場荷時）
「2」3 管式プロジェクター
「3」液晶プロジェクター
「4」プロジェクションテレビ

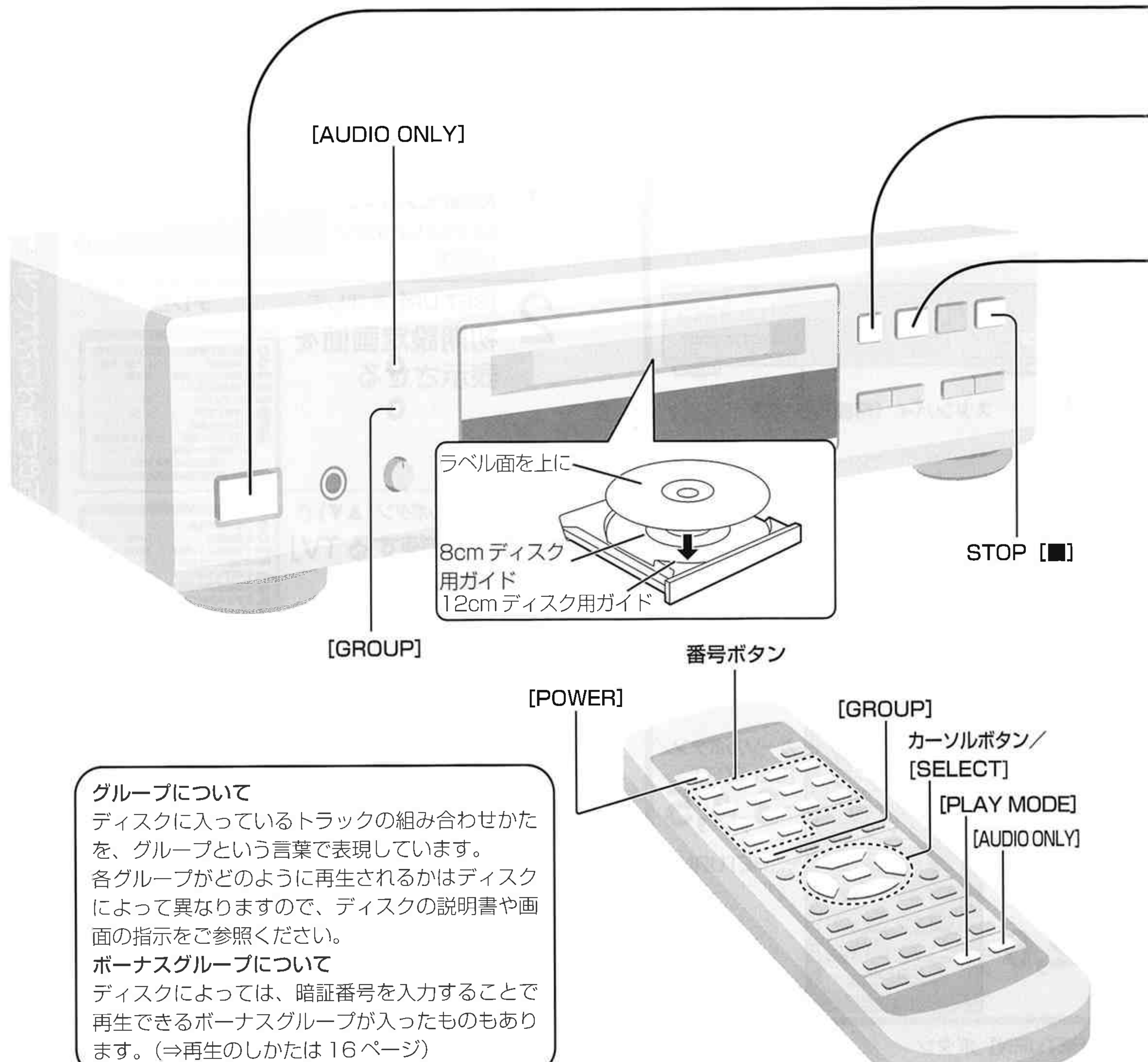
[SELECT] を押すと、設定が確定して、初期設定画面に戻ります。

6 [SET UP] を押して
設定を終了する

お知らせ
本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。ビデオデッキやVTR内蔵テレビなどを経由させると、コピーガードの影響で再生中画面が乱れることがあります。



DVD-A DVD-V VCD CD



グループについて
ディスクに入っているトラックの組み合わせかたを、グループという言葉で表現しています。
各グループがどのように再生されるかはディスクによって異なりますので、ディスクの説明書や画面の指示をご参照ください。
ボーナスグループについて
ディスクによっては、暗証番号を入力することで再生できるボーナスグループが入ったものもあります。(⇒再生のしかたは16ページ)

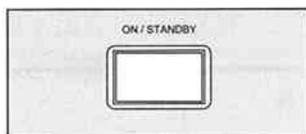
DVDの音量について
DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
もし、テレビ（やアンプ）側の音量を上げる場合は、再生後必ず下げておいてください。別のソフトに切り換えたときに突然大きな音が出る場合があります。
本機を長期間使用しないときは
電源コードを抜いてください。コードを差したままだと電源を切っても約1.5Wの電力を消費しています。(スタンバイ状態)

お願い
- トレイにディスクを2枚置かないでください。
- メニューが出ているときなどは、画面が静止していてもディスクは回っています。再生しないときは［■ STOP］ボタンを押してください。

お知らせ
ボタン操作中、テレビ画面に“⊘”が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止していることを示しています。

再生する前に ●テレビの電源を入れる。
●本機との接続に合わせて、テレビの外部入力を切り換える。(ビデオ1など)

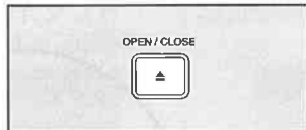
1



本機の電源ボタン［ON/STANDBY］または、リモコンの電源ボタン［POWER］を押して

電源を入れる

2



［▲ OPEN/CLOSE］を押して

トレイを開き、ディスクを置く

この操作から始めても自動的に電源が入ります。

3



［▶ PLAY］押して

再生を始める

押すと自動的にトレイが閉まります。

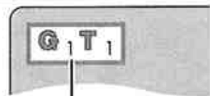
ほとんどのDVDディスクは、［▶ PLAY］を押す前に［▲ OPEN/CLOSE］を押してトレイを閉めると、自動的に再生を始めます。

再生が終了すると

動的に停止し、ディスクによってはグループ選択のメニュー画面になります。(⇒下記参照)

グループを選ぶには

［GROUP］を押す



押すたびに、グループ番号が切り換わります。

［▶ PLAY］を押すと、そのグループを再生します。

番号指定で選ぶには（リモコン）

1. ［GROUP］を押す。
2. 番号ボタンでグループを選ぶ。
3. ［▶ PLAY］を押す。

お知らせ

動作状態（メニュー表示中など）によって選べないこともあります。

メニュー画面になったときは

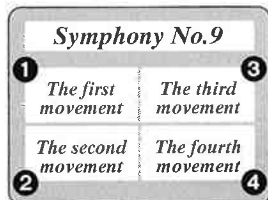
再生を始めたときや、1つのグループを再生し終わったとき、メニュー画面になる場合があります。

（表示例）

カーソルボタン（◀▶ ▲▼）でメニューを選ぶ

［SELECT］を押すと決定します。

リモコンの番号ボタンでも選べます。



1度に全グループを再生するには

グループ1だけでは全トラックが再生できないようなディスクで行います。

停止中に

リモコンの［PLAY MODE］を押して、オールグループ再生を選ぶ



押すたびに

オールグループ→プログラム→ランダム→解除→オールグループ

［▶ PLAY］を押すと、再生を始めます。

より高音質で聞くには(オーディオオンリー)

［AUDIO ONLY］を押す

映像信号が遮断されて音声信号のみになります。

再び押すか、電源を切ると解除されます。

お知らせ

- 音声コードをアンプなどに接続している場合は、テレビの電源も切るとより効果的です。
- 再生していないときは停止時の映像信号が送られます。また操作（スキップなど）を行うと、そのときだけ映像信号が送られ操作表示が出ます。それ以外は映像信号が出ないためテレビ画面は少し乱れた状態になります。

再生を止めるには

［■ STOP］を押す

“▷”が点滅しているときは、**続き再生メモリー機能**（⇒右記）が働いています。

止めた位置から再生するには(続き再生メモリー)

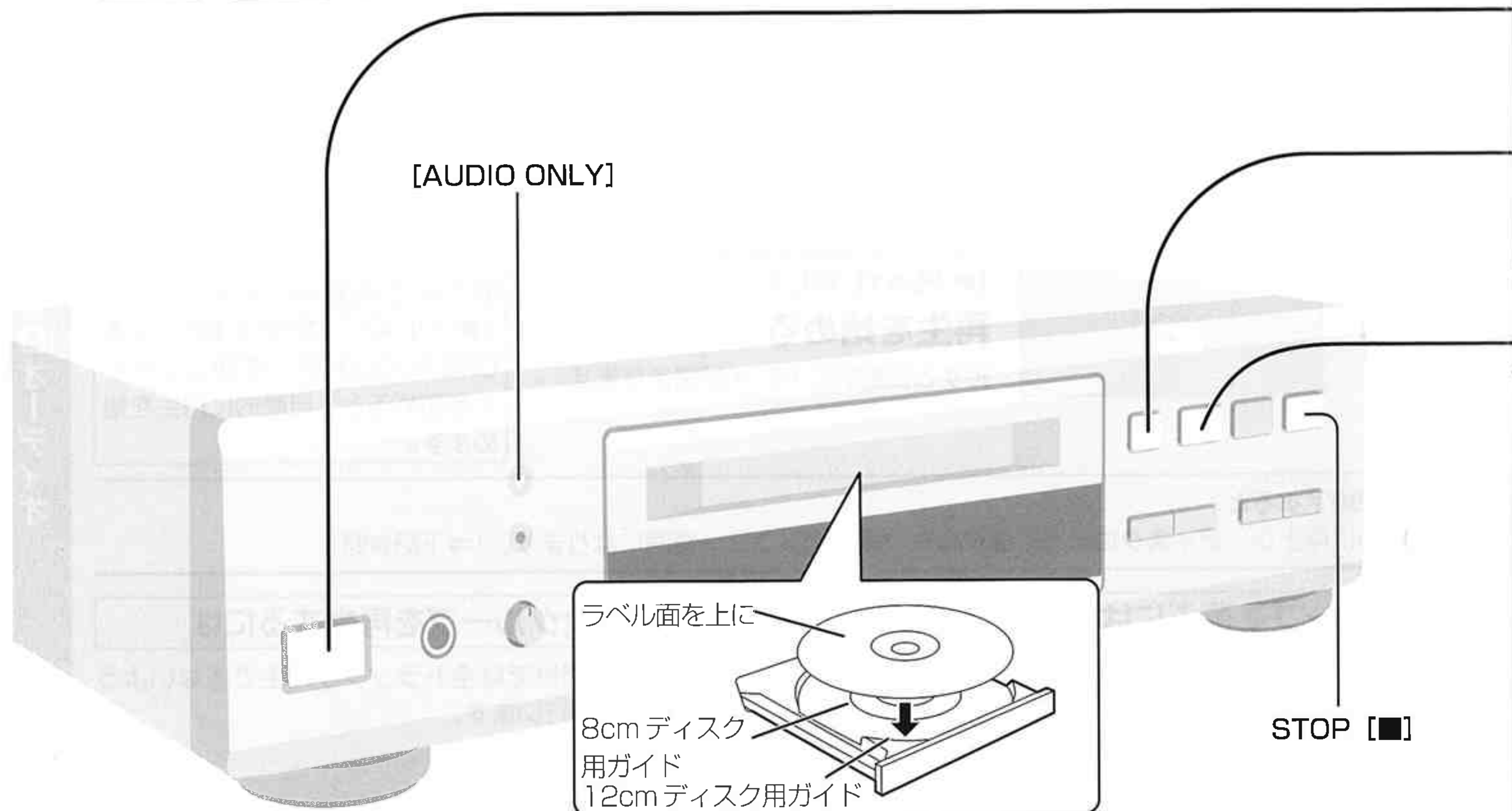
“▷”が点滅している状態で

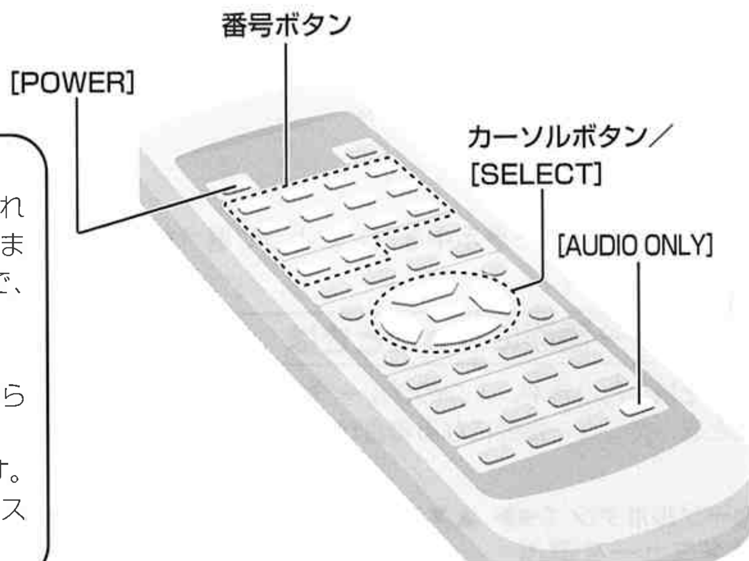
［▶ PLAY］を押すと、止めた位置から再生を始めます。

- 電源を切ってもメモリーは保持されます。
- ［■ STOP］や［▲ OPEN/CLOSE］を押すと、続き再生メモリーは解除されます。（“▷”が消灯）

基本の再生 — DVD ビデオ・ビデオ CD・音楽 CD

DVD-A DVD-V VCD CD





DVD、ビデオ CD について
ソフト制作者の意図によって再生方法が決められているディスクでは、一時停止、早送りなどさまざまな操作を禁止している場合がありますので、ディスクの説明書もよくお読みください。

カラオケディスクについて
通常は 1 曲終わるたびメニューに戻るように作られています。
- メニューで連続再生を選べるディスクもあります。
- メニューに戻らず自動的に連続再生するディスクもあります。

DVD の音量について
DVD の音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
もし、テレビ（やアンプ）側の音量を上げる場合は、再生後必ず下げておいてください。別のソフトに切り換えたときに突然大きな音が出る場合があります。

本機を長期間使用しないときは
電源コードを抜いてください。コードを差したままだと電源を切っても約 1.5W の電力を消費しています。（スタンバイ状態）

お願い
- トレイにディスクを 2 枚置かないでください。
- メニューが出ているときなどは、画面が静止していてもディスクは回っています。再生しないときは［■ STOP］ボタンを押してください。

お知らせ
ボタン操作中、テレビ画面に "⦸" が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止していることを示しています。

再生する前に ● テレビの電源を入れる。
● 本機との接続に合わせて、テレビの外部入力を切り換える。(ビデオ１など)

1 本機の電源ボタン［ON/STANDBY］または、リモコンの電源ボタン［POWER］を押して

電源を入れる

2 ［▲ OPEN/CLOSE］を押して

トレイを開き、ディスクを置く

この操作から始めても自動的に電源が入ります。

3 ［▶ PLAY］を押して

再生を始める

押すと自動的にトレイが閉まります。

ほとんどのDVDディスクは、［▶ PLAY］を押す前に［▲ OPEN/CLOSE］を押してトレイを閉めると、自動的に再生を始めます。

メニュー画面になったときは

DVD-A DVD-V VCD CD

一部のDVDビデオやプレイバックコントロール付きのビデオCDでは、再生を始めるとまずメニュー画面になる場合があります。そのときは以下のように選んでください。

(表示例)



(DVDのみ)
カーソルボタン(◀▶ ▲▼)で
メニューの項目を選ぶ

［SELECT］を押すと決定します。


または

(DVDビデオ、ビデオCD共通)
番号ボタンを押して
メニューの項目を選ぶ

10以上の場合は
例10：［≧10］→［1］→［0］
例25：［≧10］→［2］→［5］

その他のメニュー操作ボタン(例)
ディスクによって異なりますので、ディスク側の説明書もお読みください。

［SKIP］：次のメニューを出す
［RETURN］：前のメニューに戻る
［MENU］：メニュー画面を出す(DVD)
［TOP MENU］：最初のメニューに戻る(DVD)

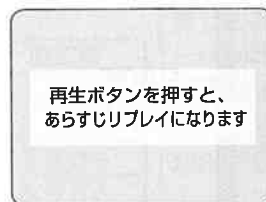
再生を停止するには

［■ STOP］を押す

"▷"が点滅しているときは、**続き再生メモリー機能**(⇒下記)が働いています。

止めた位置から再生するには
(続き再生メモリー機能)

"▷"が点滅している状態で
［▶ PLAY］を押すと、止めた位置から再生を始めます。
DVDビデオの場合は以下のメッセージが表示されている間に［▶ PLAY］を押すと、**あらすじリプレイ**になります。



あらすじリプレイとは、それまで見た位置までの各チャプターの冒頭部分を順次再生する機能です。その後、止めたところからの通常再生が始まります。

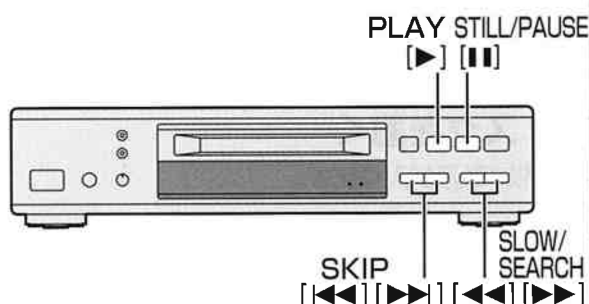
［■ STOP］や［▲ OPEN/CLOSE］を押すと、続き再生メモリーは解除されます。

お知らせ
- 再生しても表示窓に時間経過が出ないディスクの場合は、続き再生メモリー機能は働きません。
- 電源を切ってもメモリーは保持されます。
- あらすじリプレイのできないDVDビデオもあります。

より高音質で聞くには(オーディオオンリー)

［AUDIO ONLY］を押す

(⇒くわしくは11ページをご覧ください。)





一時停止する（静止）

DVD-A DVD-V VCD CD

再生中にリモコンまたは本体の

[❚❚ STILL/PAUSE] ボタンを押す

[▶ PLAY] を押すと、元の再生に戻ります。

場面や曲を飛びこす（スキップ）

DVD-A DVD-V VCD CD

DVDオーディオ、CD、ビデオCDのトラックや、DVDビデオのチャプターの頭へ飛び、そこから再生します。

SKIP [|◀◀] [▶▶|] を押す

▶▶| 進む
|◀◀ 戻る

- 押した回数だけ飛び越します。
- 戻る方向へ1回押すと、再生中のトラック／チャプターの頭に飛びます。

お知らせ

DVDやプレイバックコントロール付きビデオCD(⇒53ページ)のメニュー再生中に押すと、メニュー画面に戻ることがあります。

早送り／早戻し再生をする（サーチ）

DVD-A DVD-V VCD CD

再生中に

SLOW/SEARCH [◀◀] [▶▶] を押す

▶▶ 進む
◀◀ 戻る

- 押すたびにサーチの速度が速くなります。(5段階)
  本体では長く押すとしだいに速くなります。
- 早送り／早戻し中も音声が聞こえます。
  (音声が出ないディスクもあります。)
  音声が出ないようにすることもできます。
  (DVDビデオとビデオCDのみ⇒38ページ)
- [▶ PLAY] を押すと、元の再生に戻ります。

お知らせ

DVDやプレイバックコントロール付きビデオCD(⇒53ページ)のメニュー再生中に押すと、メニュー画面に戻ることがあります。

スロー再生をする（スロー）

DVD-A DVD-V VCD CD

一時停止（静止）中に

SLOW/SEARCH［◀◀］［▶▶］を押す

▶▶ 進む
◀◀ 戻る（DVDのみ）

- 押すたびにスローの速度が速くなります。(5段階)
- ［▶ PLAY］を押すと、元の再生に戻ります。

お知らせ

- DVDオーディオでは、動画でのみできます。

静止画を選ぶ（ページスキップ）

DVD-A DVD-V VCD CD

静止画付きのDVDオーディオでは、好みの画像を選ぶことができます。

再生中に

PAGE［−］［+］を押す

［+］進む
［−］戻る

お知らせ

- スライドショー形式（自動的に静止画が送られるタイプ）の映像などは選択できない場合があります。

動画を1コマずつ送る（コマ送り）

DVD-A DVD-V VCD CD

一時停止（静止）中に

カーソルボタン（◀▶）を押す

（▶）進む
（◀）戻る（DVDのみ）

- 押すたびに1コマずつ送り（戻り）ます。
- 押したままにしておくと、コマが連続して送られ（戻り）ます。
- ［▶ PLAY］を押すと、元の再生に戻ります。

お知らせ

- DVDオーディオでは、動画でのみできます。
- ［❚❚ STILL/PAUSE］をポンポンと押してもコマ送りできます。
- フレームスチル、フィールドスチルは自動的に選ばれます。(⇒38、53ページ参照)

インデックスを選ぶ(インデックススキップ)

DVD-A DVD-V VCD CD

DVDオーディオのトラックは、インデックスという単位で分けられています。これをスキップすることで、好みの位置をさがすことができます。

再生中／一時停止（静止）中に

INDEX SKIP［−］［+］を押す

［+］進む
［−］戻る

- スキップした位置で、操作前の動作（再生／一時停止）になります。

お知らせ

- スキップ中は音声が途切れます。
- インデックスのないトラックもあります。

好みのトラック／チャプターを番号指定で再生する

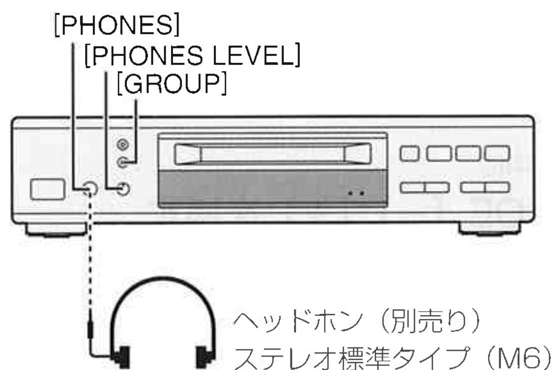
DVD-A DVD-V VCD CD

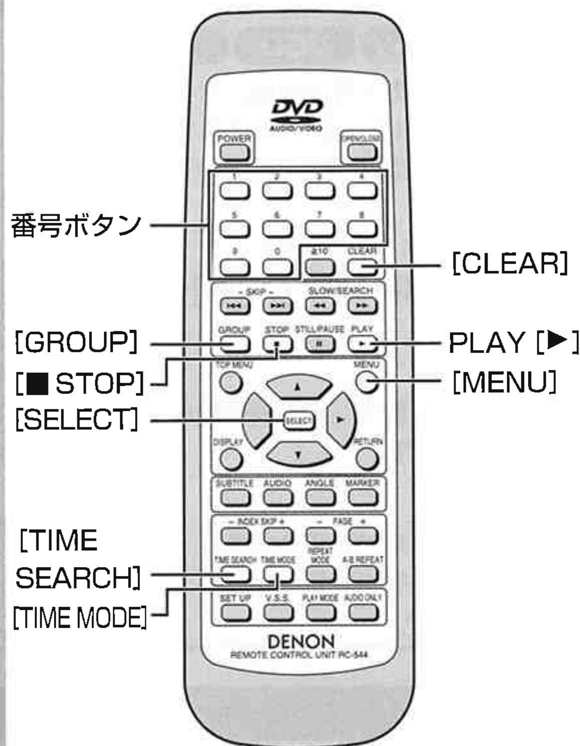
再生中または停止中に

番号ボタンを押す

10以上の場合は
例10：［≧10］→［1］→［0］
例25：［≧10］→［2］→［5］

- DVDオーディオの場合、別のグループのトラックを選ぶときは、まずグループ番号を指定してください。(⇒11ページ)
- プレイバックコントロール付きビデオCDは、メニュー機能を解除することで行えます。(⇒17ページ)
- 動作状態（メニュー表示中など）によってできない場合があります。





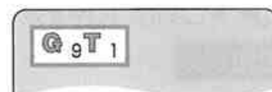
ボーナスグループを再生する

DVD-A DVD-V VCD CD

DVD オーディオのディスクによって入っているボーナスグループは、暗証番号を入力すると再生可能になります。

停止中に

1. [GROUP] を押してボーナスグループを指定する (⇒ 11 ページ)



2. [▶ PLAY] を押す

3. 番号ボタンで暗証番号（4 桁）を入力する

暗証番号はディスクの説明書などで確認してください。

（例：1234）

ボーナスグループ
暗証番号 4 ケタを入力して
決定ボタンを押してください。
1 2 3 4

4. [SELECT] を押す

トラック選択表示になります。
カーソルボタン（▲▼）で好みのトラックを選んでから、再度押してください。

- プログラム操作やランダム操作でボーナスグループを指定した場合も、同じ操作を行ってください。
- メニュー画面で、暗証番号を入力する場合もあります。そのときは画面の指示に従ってください。
- いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまでは何度も再生できます。

お知らせ

- 番号を間違えて入力した場合は元の画面に戻ります。もう 1 度最初から行ってください。
- 入力中に数値を間違えた場合は、[CLEAR] を押してください。
- 画面に"決定ボタンを押してください"が表示されたときは、[SELECT] を押してください。

ここで紹介した他に、次のような便利機能があります。(⇒くわしくは 28 ページの「絵表示を使って操作する（GUI）」をご覧ください。)

●画質を調整する（シネマ画質など）
●セリフのみ音量を上げる（シネマボイスモード）
●本機の出力レベルを調整する（マスターボリューム）

時間指定した位置から再生する（タイムサーチ）

DVD-A DVD-V VCD CD

好みの位置までの再生時間が分かっている場合は、以下の方法で指定し、そこから再生することができます。
DVDオーディオはグループ内、DVDビデオはタイトル内でのみ行えます。

再生中にリモコンの

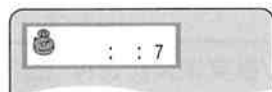
1. [TIME SEARCH] を押す



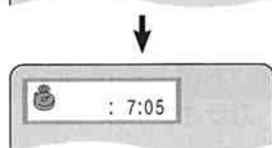
2. 番号ボタンで時間を指定する

（例：7分05秒）

① 分（7）を入力



② 秒（05）を入力



- その他の例
  7分30秒：7→3→0
  1時間02分30秒：1→0→2→3→0

3. [SELECT] を押す

指定した位置から再生が始まります。

お知らせ

- ランダム再生／プログラム再生中はタイムサーチはできません。
- グループ（またはチャプター）をまたがって指定することはできません。入力途中にグループ（またはチャプター）が終了すると、入力画面は消えます。
- DVDオーディオでは本体の表示窓が、タイムサーチ後に再生を始めたトラックの経過時間表示になります。
- 入力中に数値を間違えた場合は、[CLEAR] を押してください。
- 中止する場合は、[TIME SEARCH] を押してください。

時間表示を切り換える（タイムモード）

DVD-A DVD-V VCD CD

本体表示窓に出す情報を切り換えることができます。ビデオCDはメニュー機能を解除することで行えます。（⇒下記参照）

[TIME MODE] を押す

- 押すたびに切り換わります。
- 切り換わる内容は動作状態により異なります。

例：DVDオーディオを通常モードで再生しているとき
トラック経過時間 → トラック残り時間
↑―― グループ残り時間 ←――

メニュー機能を使わずに再生する（PBC解除）

DVD-A DVD-V VCD CD

（プレイバックコントロール付きビデオCDのみ）
メニュー機能を一時的に解除することで、連続再生できます。

1. メニュー表示中に [■ STOP] を押す。（本体表示窓の"PBC"が消灯）
2. 番号ボタンを押して、希望のトラック番号を選ぶ。選んだトラックから再生が始まります。
   - トラック番号はディスクのジャケットで調べてください。

メニュー再生に戻すには

1. [■ STOP] を押して再生を止める。
2. リモコンの [MENU] を押す。
   （本体の表示窓に"PBC"が点灯）

ヘッドホンで聞く

DVD-A DVD-V VCD CD

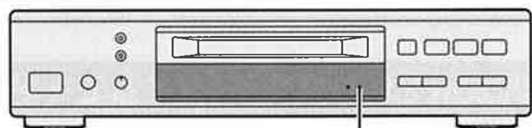
1. [PHONES LEVEL] を"MIN"（最小）の位置まで回し、ヘッドホン（別売り）を接続する。
2. [PHONES LEVEL] を回して音量を調整する。

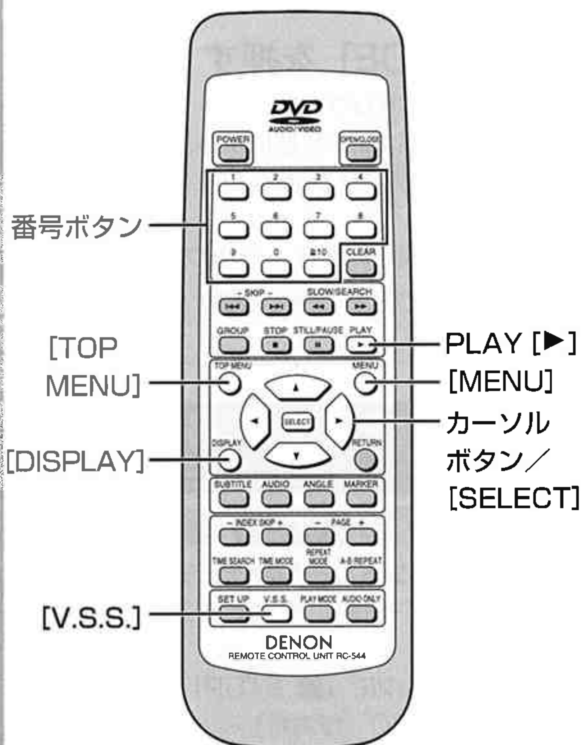
お願い

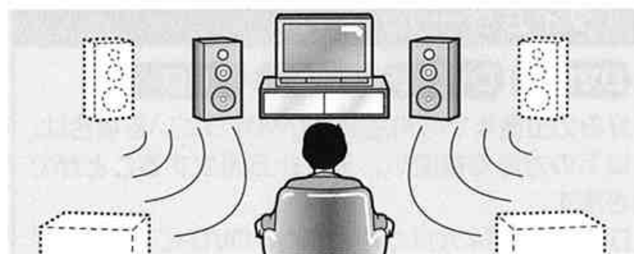
耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

バーチャルサラウンドサウンドを楽しむ（V.S.S.）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD



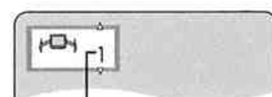




フロントスピーカー（L/R）やヘッドホンだけでも、サラウンドサウンドを楽しむことができます。（ドルビーデジタルのみ）

再生中に

1 [V.S.S.] を押して
V.S.S.のレベルを選ぶ



押すたびに
1（レベル1）→ 2（レベル2）
↑——切（解除）←——

DVDディスクでも、以下の場合はV.S.S.の効果がありません。（それ以外でも、ディスクによっては効果が少なくなることがあります。）
1. 音声が1chのディスク
2. カラオケディスク

お願い

フロント以外のスピーカーも使うときは、V.S.S.を必ず"切"にしてください。レベル1、2のときはフロントスピーカーからしか音が出ません。

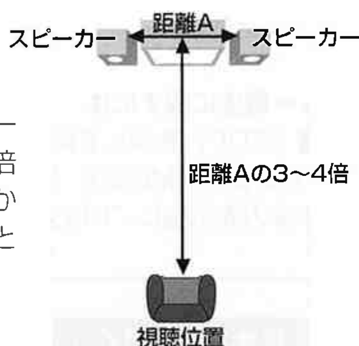
V.S.S.をヘッドホンで楽しむには

1. [DISPLAY] を押してGUI画面を出し、V.S.S.アイコンを選ぶ。
2. ヘッドホンV.S.S.を選ぶ。
（⇒くわしくは、28～31ページをご覧ください。）

スピーカーからの音質が変わりますので、ヘッドホンを使わないときは、V.S.S.（スピーカー）に戻してください。（電源を切ってもモードは保持されます。）

効果的な位置

左右フロントスピーカー間の3～4倍の距離を、テレビから離れて視聴すると効果的です。



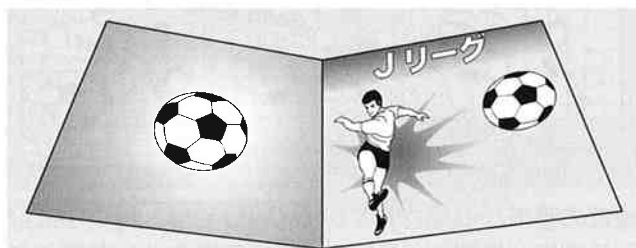
V.S.S.のレベルやモードによる効果の違い

V.S.S.モード	V.S.S.レベル1	V.S.S.レベル2
V.S.S.（フロントスピーカー）	フロントスピーカーの音が、実際の位置より少し左右に広がっているように聞こえます。 ディスクにサラウンド信号が記録されている場合は、サラウンドスピーカーがないにも関わらず、横方向から音が出ているように感じます。	レベル1よりさらに広がって聞こえます。
ヘッドホンV.S.S.	左右にスピーカーが存在しているように聞こえます。	レベル1よりさらに広がって聞こえます。

メニューを使う

メニュー

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

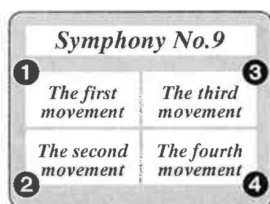


多くのDVDでは、本編とは別にメイキングシーンや場面選択などを選べるメニュー画面を設けています。また、メニュー選択で再生するのが基本のDVDもあります。
メニュー画面の出しかたや選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

停止中または再生中に

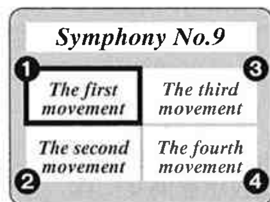
1 [MENU] を押して
メニューを表示させる

表示例



- もう一度押すと、元の状態に戻ります。

2 カーソルボタン
または番号ボタンで
項目を選ぶ



- カーソルボタン（◀▶▲▼）を押すと、別の項目へ移動します。項目が選ばれた状態で [SELECT]（または [▶ PLAY]）を押すと、決定します。

トップメニュー

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

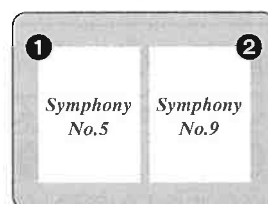


映画が数本入っているなど複数タイトルを持つDVDビデオでは、トップメニューからタイトルを選択して再生することができます。
DVDオーディオでは、グループを選ぶメニューが表示されます。

停止中または再生中に

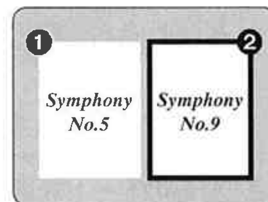
1 [TOP MENU] を押して
タイトルを表示させる

表示例



- もう一度押すと、元の状態に戻ります。

2 カーソルボタン
または番号ボタンで
タイトルを選ぶ



- カーソルボタン（◀▶▲▼）を押すと、別のタイトルへ移動します。タイトルが選ばれた状態で [SELECT]（または [▶ PLAY]）を押すと、決定します。

お知らせ

- メニューの使い方はディスクによって異なりますので、ディスクに付属の説明書をご覧ください。（上記は一般的な操作です。）
- 複数のメニューを持たないディスクでは、どちらのボタンを押しても同じ結果になることがあります。

音声を切り換える

DVD-A DVD-V VCD CD



複数の音声が収録されているDVDでは、再生中に好みの音声（言語や、PCMなどの音声方式）を選ぶことができます。

表示例（DVDオーディオ時）



再生中に
[AUDIO] を押して

音声番号を切り換える

表示例（DVDビデオ時）



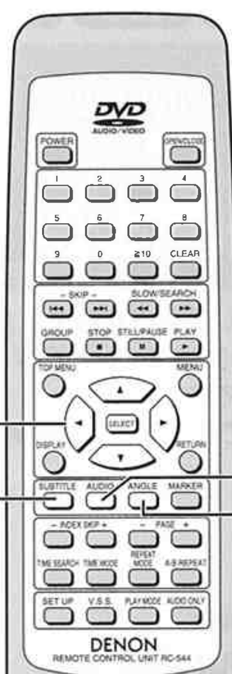
- 押すたびに切り換わります。
（カーソルボタン▲▼でも選べます。）
DVDオーディオ（動画部分以外）では、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。
- DVDオーディオは通常、2つ目の音声がない場合でも［AUDIO］を押すと番号2まで表示します。（現在再生中の音声番号は1のままです。）
- 音声が収録されていないディスクのときは、"－"が表示されます。

■**表示を消すには**
［SELECT］を押す。

お知らせ

- 希望の言語や音声方式にならない場合は、ディスクにその音声が収録されていません。
- 始めから好みの言語で聞きたい場合は、音声言語設定（⇒32ページ）を行ってください。電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。（ただし、設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。また一部のDVDには、本機の設定よりもディスクの指定言語を優先させるものがあります。）

カーソルボタン／[SELECT]
[SUBTITLE]
[AUDIO]
[ANGLE]



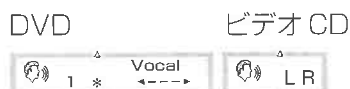
音声の切り換え機能を使ってこんなことができます

DVD-A DVD-V VCD CD

カラオケDVDやビデオCDのカラオケディスクで、ボーカルの入／切が行えます。

1. ［AUDIO］を押して音声表示を出す。

DVD　　ビデオCD



2. 好みのモードを選ぶ。
   - ●DVDカラオケ（ソロ）の場合
   カーソルボタン（◀▶）で、ボーカルの「---（切）」「入」を切り換える。
   - ●DVDカラオケ（デュエット）の場合
   カーソルボタン（◀▶）で、ボーカルの「---（切）」「1＋2（入）」「V1（入）」「V2（入）」を切り換える。
   - ●ビデオCDの場合
   カーソルボタン（▲▼）で、「LR」「L」「R」を切り換える。

お知らせ

- 2つ目の音声にボーカルが入っている場合は、［AUDIO］を押すたびに切り換わります。
- 本機には直接マイクを接続できません。カラオケをお楽しみになるには、マイク端子付きのAVアンプなどに接続してください。

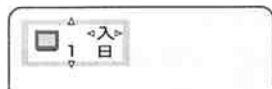
字幕言語を切り換える

DVD-A DVD-V VCD CD



複数の字幕言語が収録されているDVDでは、再生中に好みの言語を選ぶことができます。

再生中に
[SUBTITLE] を押して
字幕番号を切り換える



- 押すたびに切り換わります。(カーソルボタン▲▼でも選べます。)
- 字幕言語が収録されていないディスクのときは、"--"が表示されます。

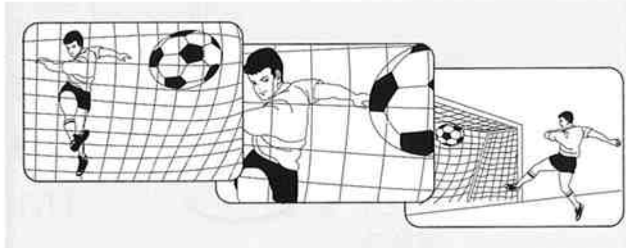
■字幕を入/切するには
カーソルボタン(◀▶)で選ぶ。
■表示を消すには
[SELECT] を押す。

お知らせ

- 変更した後、その言語が表示されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 希望の言語にならない場合は、ディスクにその言語が収録されていません。
始めから好みの言語で見たい場合は、字幕言語設定(⇒32ページ)を行ってください。電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。(ただし、設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。また一部のDVDには、本機の設定よりもディスクの指定言語を優先させるものがあります。)

アングルを切り換える

DVD-A DVD-V VCD CD



マルチアングルが収録されているDVDでは、1つの場面を角度や視点などを変えて見ることができます。

マルチアングルの場面を再生中に
[ANGLE] を押して
アングル番号を切り換える

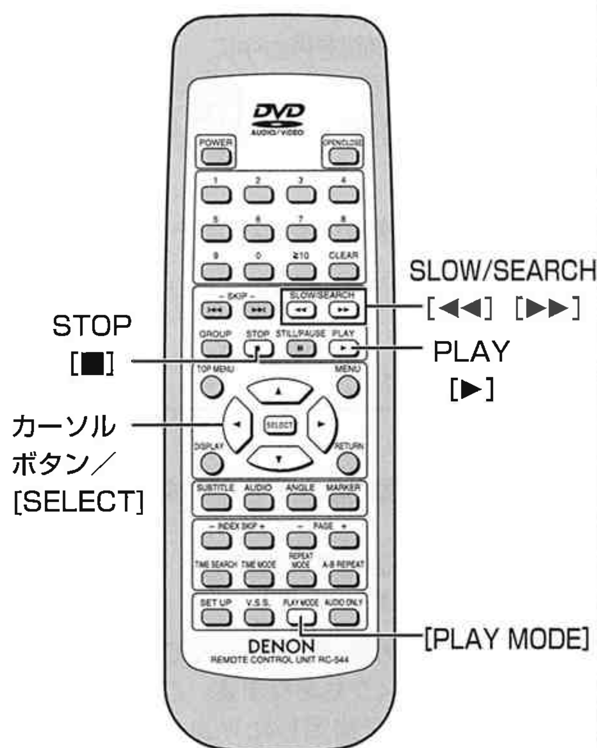


- 押すたびに切り換わります。(カーソルボタン▲▼でも選べます。)

■表示を消すには
[SELECT] を押す。

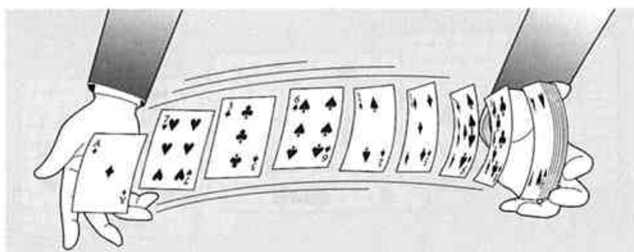
お知らせ

- マルチアングル機能は、それが収録されている場面でのみ働きます。
- マルチアングルの場面になると、本体表示窓では"🎥"が表示されます。
- マルチアングルの場面にならなくても、あらかじめ設定できるディスクもあります。この場合、その場面になった時点で指定したアングルになります。(DVDディスクの説明書もご覧ください。)



順不同に再生する（ランダム）

DVD-A DVD-V VCD CD



各トラックを１度ずつ、順不同に再生します。
DVD オーディオでは、指定したグループの中でランダム再生を行います。

停止中に

1 [PLAY MODE] を押して
ランダム再生を選ぶ

表示例（DVDオーディオ時）

ランダム再生
グループ番号を選んでください。

グループ：オール 1 2 3 4 5
プレイボタンでランダム再生スタート

Random

本体表示窓

押すたびに
DVD オーディオでは
オールグループ ⟶ プログラム ⟶ ランダム
↑―――解除 ←―――┘
ビデオ CD、音楽 CD では
プログラム ⟶ ランダム ⟶ 解除

（DVD オーディオのみ）

2 カーソルボタンで
グループを選ぶ

- 選んでから [SELECT] を押すと、グループが決定します。
- グループは複数選べます。
- 取り消す場合は、そのグループを選んで [SELECT] を押します。

ランダム再生
グループ番号を選んでください。
＊
グループ：オール 1 2 3 4 5
プレイボタンでランダム再生スタート

All ＊＊＊4＊

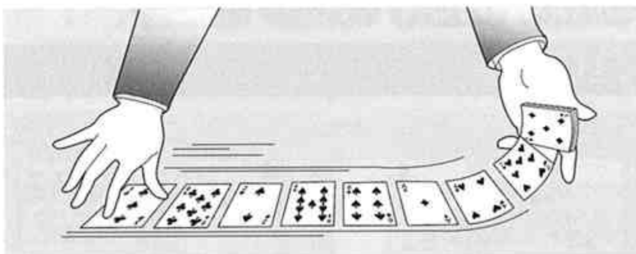
3 [▶ PLAY] を押して
ランダム再生を始める

■ランダム再生が終了すると
停止して、ランダム再生画面に戻ります。

■ランダム再生を解除するには
1. [■ STOP] を押す。
2. [PLAY MODE] を押して、元の再生モードに戻す。

好みの順に再生する（プログラム）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD



最大100トラックまで好みの順に再生します。
DVDオーディオでは、複数のグループにまたがってプログラム再生することができます。

停止中に

1 [PLAY MODE] を押して プログラム再生を選ぶ

表示例（DVDオーディオ時）

グループ・トラック番号を選んでください
グループ　トラック　タイム
クリア
オールクリア
トータルタイム
プレイボタンでプログラム再生スタート

PGM DVD AUDIO　Program

本体表示窓

押すたびに

DVDオーディオでは

オールグループ → プログラム → ランダム
↑――――解除 ←――――┘

ビデオCD、音楽CDでは

プログラム → ランダム → 解除

（DVDオーディオのみ）

2 カーソルボタンで グループを選ぶ

1. [SELECT] を押す。
2. 番号を選ぶ（▲▼）。

グループ・トラック番号を選んでください
グループ　トラック　タイム
1　1
クリア
オールクリア
トータルタイム
プレイボタンでプログラム再生スタート

GROUP 1　TRACK 1　P.1

3 カーソルボタンで トラックを選ぶ

1. [SELECT] を押す。
2. 番号を選び（▲▼）、再度 [SELECT] を押す。

グループ・トラック番号を選んでください
グループ　トラック　タイム
1　4　7:12
クリア
オールクリア
トータルタイム 7:12
プレイボタンでプログラム再生スタート

GROUP 1　TRACK　P.1

プログラム数

- "オール" を選ぶと、グループ内の全トラックが予約されます。また、その時点で予約トラック数の合計が100を越えた場合は、越えたトラックが自動的に除外されます。
- DVDオーディオでは、トータルタイムが表示されるまでに少し時間がかかります。

4 さらに予約する

DVDオーディオでは

手順2、3を繰り返す。

ビデオCD、音楽CDでは

手順3を繰り返す。

- 予約数が8を越えると画面が自動的に切り換わります。

5 [▶ PLAY] を押して プログラム再生を始める

■プログラム再生が終了すると

停止し、プログラム予約画面になります。

■プログラム再生を解除するには

1. [■ STOP] を押す。
2. [PLAY MODE] を押して、元の再生モードに戻す。（予約内容は残ります。）

■再び、初めからプログラム再生を行うには

1. プログラム再生中は、[■ STOP] を2回押す。
   他の再生モードのときは、停止中に [PLAY MODE] を押してプログラム再生を選ぶ。（いずれの場合も、プログラム予約画面になります。）
2. [▶ PLAY] を押す。

■予約を変更するには

変更したいトラック（またはグループ）をカーソルボタンで選ぶ。
この後、左記手順3（または2、3）を行ってください。

- [◀◀] [▶▶] を押すと1度に画面が切り換わり、変更したい予約番号を早く表示させることができます。

■予約を1つずつ取り消すには

カーソルボタンで予約を選び、続いて "クリア" を選んで [SELECT] を押す。

■予約をすべて取り消すには

カーソルボタンで "オールクリア" を選び、[SELECT] を押す。
ディスクを取り出したときも取り消されます。

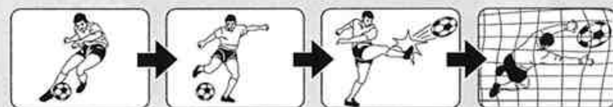
お知らせ

グループとトラックは、番号ボタンでも選べます。

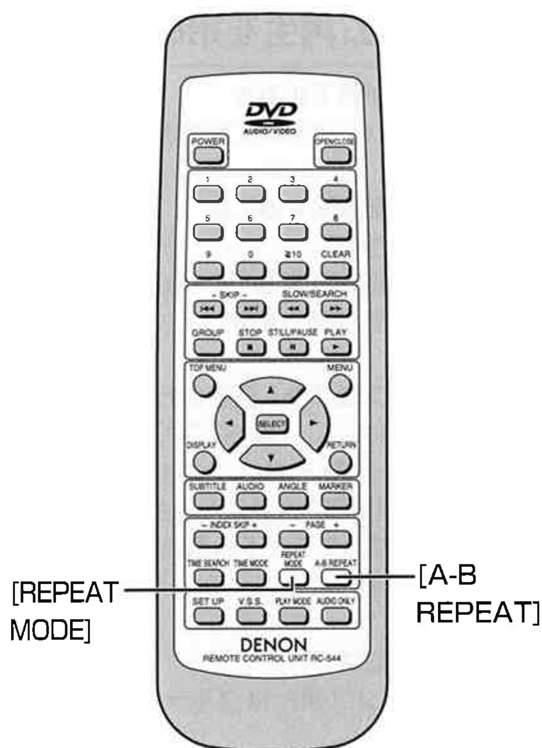
繰り返し再生する
（リピート／A-B リピート）

DVD-A DVD-V VCD CD

リピート



ディスクやタイトル、トラックやチャプターなどを繰り返します。
DVD オーディオでは、グループの再生モード（通常またはオールグループ）に従って繰り返します。



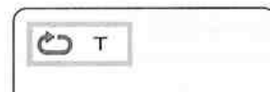
再生中に

1 ［REPEAT MODE］を押して
好みのリピートを選ぶ

- 押すたびに切り換わります。
- DVD ビデオとその他ではリピートの内容が異なります。

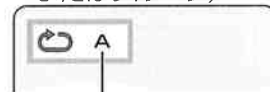
DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD

●トラック



↓

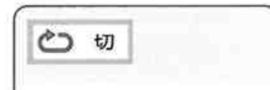
●オール（ディスク全体またはグループ）



DVD オーディオの通常再生時は "G"（グループ）が表示され再生中のグループを繰り返します。

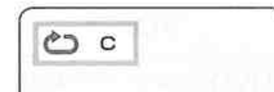
↓

●切



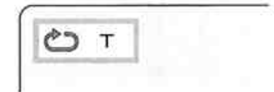
DVD ビデオ

●チャプター



↓

●タイトル



↓

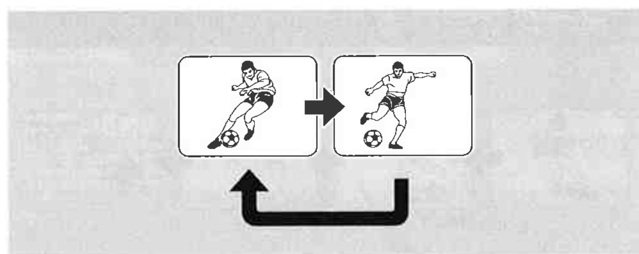
●切



お知らせ

- 一部の DVD ではリピートできません。また、プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中はリピートが働きません。
- タイトルが 2 つ以上ある DVD ビデオでは、ディスク全体を繰り返すことはできません。

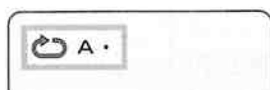
A-B リピート



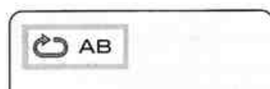
指定した2点間を繰り返します。

再生中に、リピートを始めたい位置で

1 [A-B REPEAT] を押して
A-B リピート開始位置(A)を指定する



2 [A-B REPEAT] を押して
A-B リピート終了位置(B)を指定する



■ **A-B リピートを解除するには**
[A-B REPEAT] を押して、"⟲ · ·" を表示させる。

お知らせ

- 一部の DVD では A-B リピートが働きません。
- A-B リピートは、同一タイトル/トラック間でのみ行えます。
- 終了位置(B)を指定する前に、タイトル/トラックが終了した場合は、そこが終了位置(B)になります。
- 字幕が出るディスクの場合、A-B 間の前後の字幕は表示されない場合があります。
- リピート(左記)と A-B リピートは同時には行えません。

プログラム再生を繰り返すには

DVD-A DVD-V VCD CD

■**全プログラムを繰り返すには**

1. プログラム再生を始める。
   (⇒23ページ)
2. 再生中に [REPEAT MODE] を2回押して、"⟲ A" を表示させる。

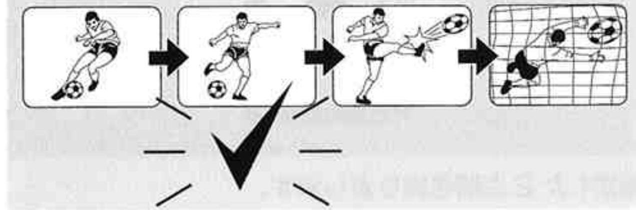
■**好みのトラックのみを繰り返すには**
そのトラックの再生中に [REPEAT MODE] を押して "⟲ T" を表示させる。

■**解除するには**
[REPEAT MODE] を押して "⟲ 切" を表示させる。

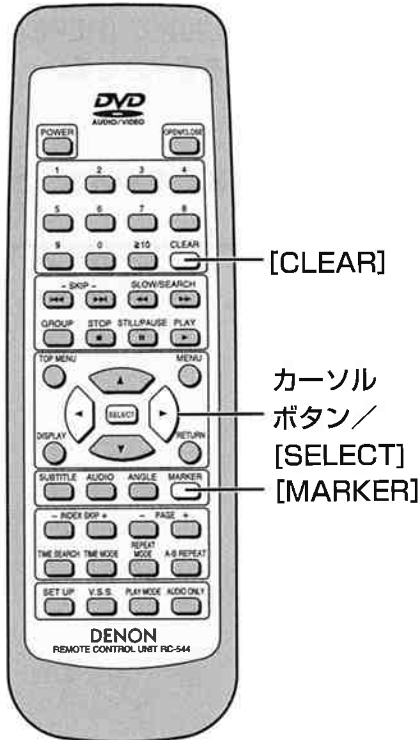
好みの位置を記憶させる (マーカー)

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

マークをつける

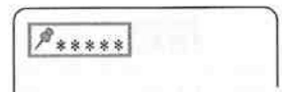


再び見たい（聞きたい）位置にマークをつけておくと、後でそこから再生することができます。マークは５つまでつけられます。



再生中に

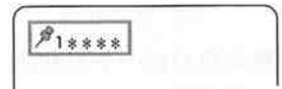
1 [MARKER] を押して
マーカー画面を表示させる



- "*" は未使用のマークを示しています。

好みの位置で

2 [SELECT]を押して
記憶させる

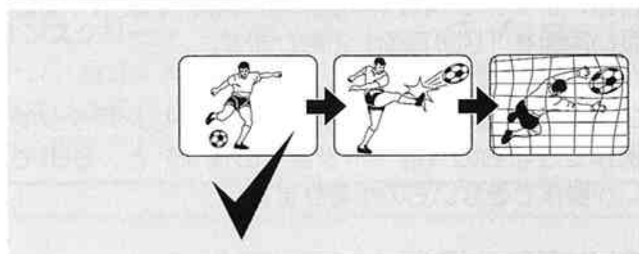


- "*" が数字に変わります。
  別の位置にもマークしたい場合は、カーソルボタンで次の "*" を選び [SELECT] を押します。

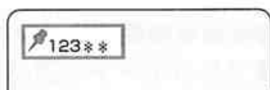
■マークを取り消すには
再生中に

1. [MARKER] を押す。
2. カーソルボタンで不要なマークを選び、[CLEAR] を押す。

マークした位置から再生する



1 カーソルボタン（◀▶）で
マークを選ぶ



- マーカー画面になっていないときは、[MARKER] を押してください。

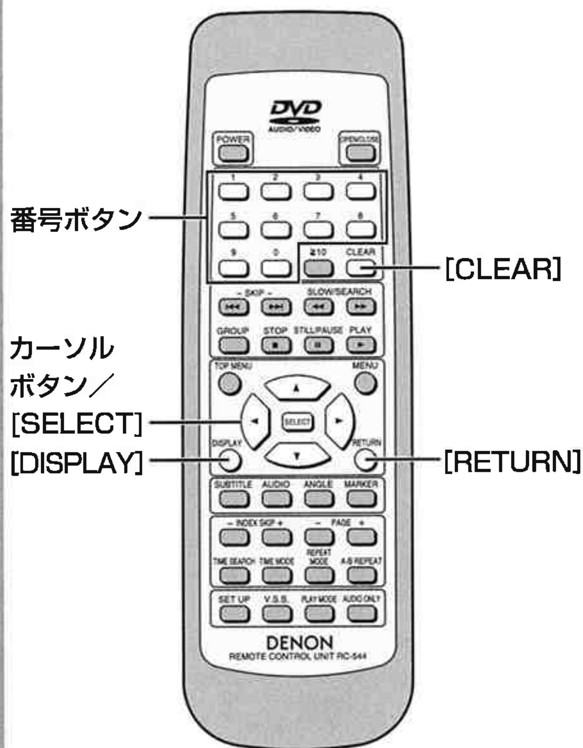
2 ### [SELECT] を押す
- マークした位置まで飛んで、そこから再生を始めます。

お知らせ

- 一部のDVDや、プレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中はマークをつけることができません。
- マークをつけた箇所によっては、字幕や映像が表示されないことがあります。
- 電源を切るか、ディスクを取り出すと、マークは消去されます。

絵表示を使って操作する（GUI）

DVD-A DVD-V VCD CD



GUI（Graphical User Interface）とは「画面の絵表示を使って操作する」という意味です。本機の場合は、ディスク情報や本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI画面」と呼びます。

GUIで行える操作項目には、他の独立したボタンで操作できるもの（前ページまでの操作）と、GUIでしか操作できないものがあります。

GUI専用の操作 （⇒31ページ）

●セリフのみ音量を上げる（シネマボイスモード）
●画質を調整する（シネマ画質など）
●V.S.S.モードを選ぶ
●マスターボリューム（本機の出力レベル）を調整する

GUIの基本操作

再生中または静止中に

1 [DISPLAY] を押して
GUI画面を選ぶ
- 押すたびに切り換わります。（⇒右ページ）

2 カーソルボタン（◀▶）で
表示（操作項目）を選ぶ

3 **内容を選択または実行する**
- 各項目ごとの操作は29～31ページをご覧ください。
  選択数字が表示される項目は、番号ボタンを押しても選べます。
- GUI以外でも行える項目の詳細は、前ページまでの該当箇所をご覧ください。

■GUI画面を消すには
[CLEAR] または [RETURN] を押す。

お知らせ
- GUI画面の一部が欠けたり、表示されなかったりするときは、初期設定画面でオンスクリーンの変更をしてください。（⇒36ページ）

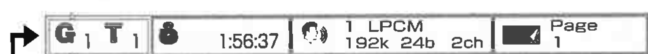
画面表示

GUIには3つの画面があり、ディスクによって内容が異なります。
ディスク情報画面：トラック／チャプターの選択や、音声切り換えなどが行えます。
本機の情報画面　：繰り返し再生や、好みの場所をマークするなどが行えます。
シャトル画面　　：早送り／早戻しや、スロー再生などが行えます。

表示例

DVDオーディオ

ディスク情報画面



本機情報画面



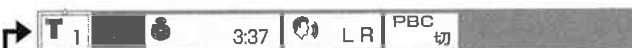
シャトル画面



GUIの画面無し

ビデオCD

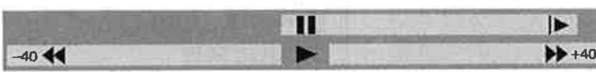
ディスク情報画面



本機情報画面



シャトル画面



GUIの画面無し

DVDビデオ

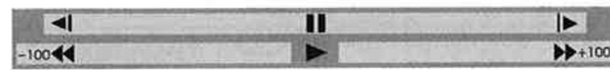
ディスク情報画面



本機情報画面



シャトル画面



GUIの画面無し

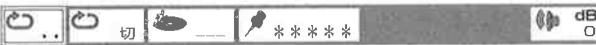
DVDオーディオの動画部分を再生した場合もほぼ同じ画面になります。

音楽CD

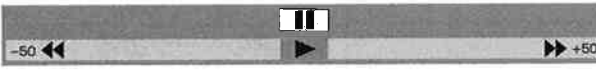
ディスク情報画面



本機情報画面



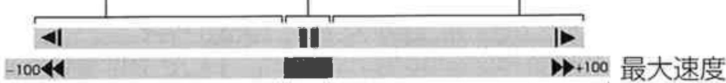
シャトル画面



GUIの画面無し

シャトル画面

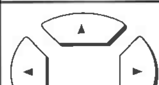
スロー再生（戻る）（DVDビデオのみ）　静止（一時停止）　スロー再生（進む）（DVDビデオ、ビデオCDのみ）



最大速度　　最大速度

早戻し　再生　早送り

操作方法



操作項目を選ぶ

↓

（スロー再生、早送り／早戻しのみ）



速度（5段階）を選ぶ

ディスク情報画面

表示（操作項目）	選択または実行内容	操作方法
G 1	**グループ番号**（DVD オーディオ）	カーソルボタンで選んで [SELECT] を押す
T 1	**トラック番号**（DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD） **タイトル番号**（DVD ビデオ）	カーソルボタンで選んで [SELECT] を押す
C 1	**チャプター番号**（DVD ビデオ）	カーソルボタンで選んで [SELECT] を押す
1:56:37	**時間**（再生場所を時間で指定する） （DVD オーディオ、DVD ビデオ）	番号ボタンを押す 例：1 時間 2 分 30 秒 ↓1→0→2→3→0 押す
	再生時間の表示モード（DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD） トラック経過時間 ↔ トラック残り時間 ↔ ディスク残り時間	カーソルボタンで選ぶ
（例 1） ⓐ ⓑ 1 LPCM 1 192k 24b 2ch ⓒ （例 2） ⓐ ⓑ LPCM 1 英 48k 16b ⓓ ⓒ	**音声番号**（DVD オーディオ、DVD ビデオ） ⓐ 音声番号 ⓑ 信号タイプ LPCM（リニア PCM）／PPCM（パックド PCM）／ DD（ドルビーデジタル）／DTS／MPEG／Vocal ⓒ 信号データ k（サンプリング周波数）／b（ビット数）／ch（チャンネル数） ⓓ 音声言語記号 **日** 日本語　**伊** イタリア語　**露** ロシア語 **英** 英語　**西** スペイン語　**韓** 韓国語 **仏** フランス語　**蘭** オランダ語　＊ その他 **独** ドイツ語　**中** 中国語	カーソルボタンで選ぶ **カラオケ DVD（“Vocal” 表示）のとき** ボーカル音声が次のように切り換わります。 ソロカラオケのとき --- （切） ↔ 入 デュエットカラオケのとき --（切）↔V1＋V2（デュエット） ↕ ↕ V2（ボーカル 2）↔V1（ボーカル 1）
L R	**音声モード**（ビデオ CD） LR（左右 ch から出力）↔L（左 ch のみ）↔R（右 ch のみ）	カーソルボタンで選ぶ
Page 1	**静止画のページ番号**（DVD オーディオ）	カーソルボタンで選ぶ “Return” が表示され、選ぶとメニュー画面に戻るディスクもあります。
ⓐ ⓑ 1 入 英	**字幕**（DVD ビデオ） ⓐ **字幕言語番号** ⓑ **字幕の入／切** （「英」などの言語記号については上記参照）	ⓐまたはⓑをカーソルボタンで選ぶ ↓ カーソルボタンで選ぶ
1	**アングル番号**（DVD ビデオ）	カーソルボタンで選ぶ
PBC 切	**メニュー再生**（ビデオ CD） 入／切の状態表示	ここでは変更できません （⇒ 17 ページ）

お知らせ（全 GUI 画面共通）

- 本機の動作状態（再生中、停止中など）によって選べない操作項目があります。また、ソフトの作りかたや再生状態（メニュー表示中など）によって操作できない項目もあります。

本機情報画面

表示（操作項目）	選択または実行内容	操作方法
	A-B リピート再生の始点（A）と終点（B）	[SELECT] 始点と終点でそれぞれ押す 解除するには再度押す
切	**リピート再生モード** DVD オーディオ／ビデオ CD ／音楽 CD のとき： T（トラック）⟷ A（オール）／G（グループ）⟷ 切 DVD ビデオのとき：C（チャプター）⟷ T（タイトル）⟷ 切	カーソルボタンで選ぶ
---	**再生モード**（DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD） --（通常）／ALL（オールグループ）／PGM（プログラム）／RND（ランダム）	ここでは変更できません
＊＊＊＊＊	**マーカー** マークを付ける（5 箇所まで） 12＊＊＊ マーク番号	[SELECT] マークを付けたい場所で 2 回押す 2 つ目からは＊を選んで押す
	マークを呼び出す	番号を選んで [SELECT] を押す
	マークを消す	マーク番号を選んで ↓ CLEAR 押す
GUI専用の操作 切	**シネマボイスモード**（センター ch の収録された DVD ビデオ） 入（セリフのみ音量を上げる）⟷ 切	カーソルボタンで選ぶ
GUI専用の操作 N	**画質モード**（DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD） N（通常）⟷ U ⟷ C ⟷ F ⟷ S U（ユーザー）：以下の画面が出て各種調整が行えます。 **コントラスト**（−7〜+7）　**シャープネス**（−1〜+1） 0　0　0　0 **カラー**（−7〜+7）　**ブライトネス**（0〜15） C（シネマ）　：映画スクリーンのイメージにする。 F（ファイン）：輪郭を強調してくっきりした画質にする。 S（ソフト）　：ノイズの少ない柔らかな画質にする。	カーソルボタンで選ぶ U（ユーザー）のとき [SELECT] 押して ↓ 調整項目を選び ↓ レベル数値を選ぶ 調整が終わったら [SELECT] を押す
GUI専用の操作 切	**V.S.S.モード**（ドルビーデジタル 2ch 以上の DVD ビデオ、DVD オーディオ） （スピーカー）⟷ （ヘッドホン V.S.S.） それぞれで V.S.S.の強さを選べます。 1（標準）⟷ 2（強）⟷ 切	モードを選んで ↓ 強さを選ぶ
GUI専用の操作 dB 0	**マスターボリューム**（アナログ出力のみ） 0dB（最大）〜− 127dB（最小）、−∞（消音） DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD、音楽 CD それぞれで設定できます。	カーソルボタンで選ぶ

● シネマボイスモードはセンター ch の音量を上げるもので、他のチャンネルのセリフには効果がありません。

言語・表示・視聴制限などを設定する

DVDの再生に関する設定や、テレビ画面表示のしかたなどいろいろな設定が行えます。
設定項目には、通常操作やGUI画面でそのつど行えるものもありますので、用途に応じてご利用ください。

ディスク言語（DVD）（⇒下記）
音声、字幕や、メニュー画面の言語をあらかじめ設定しておくことができます。

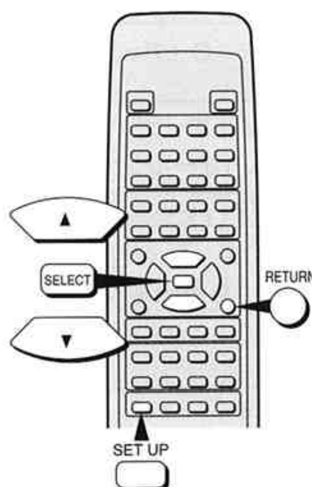
視聴制限（DVDビデオ）（⇒34ページ）
視聴制限の記録されたディスクやタイトルの再生を、そのレベルに従って制限します。

画面メニュー言語（⇒36ページ）
テレビ画面に出てくる操作関係の表示を、日本語と英語に設定できます。

ディスク言語（DVD）の設定

DVDを再生したときに、最初に選ばれる言語を設定します。以下の種類があります。

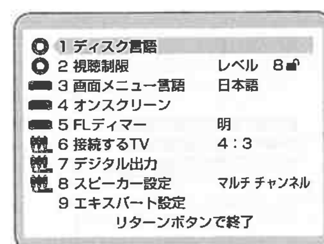
- **●音声言語**
- **●字幕言語**
- **●メニュー言語**



停止中に

SET UP

押す



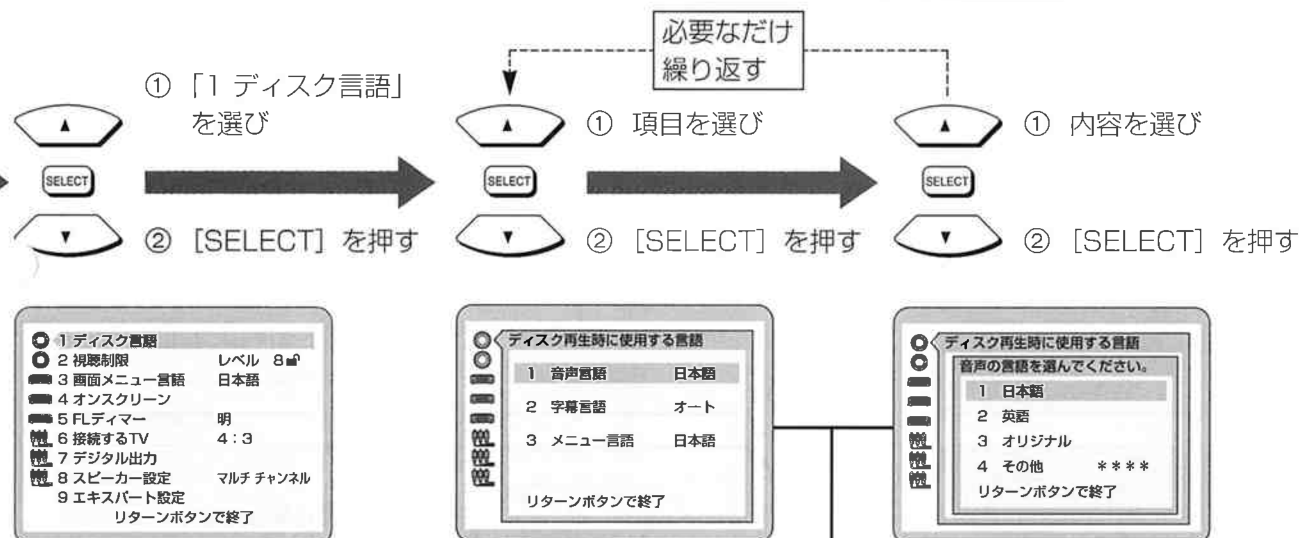
初期設定画面

■「2 字幕言語」でオートを選んだ場合
たとえば「1 音声言語」で日本語を選んでいるとき、日本語で再生すれば字幕は出ません。英語など他の言語で再生したときは日本語の字幕が出ます。

オンスクリーン（⇒36ページ）
テレビ画面に操作の表示が出る／出ないを設定したり、表示の色なども設定できます。

FLディマー（⇒36ページ）
本機表示窓の明るさを設定できます。

エキスパート設定（⇒38ページ）
早送り時の音のあり／なしや、ダイナミックレンジ圧縮など、さまざまな設定が行えます。



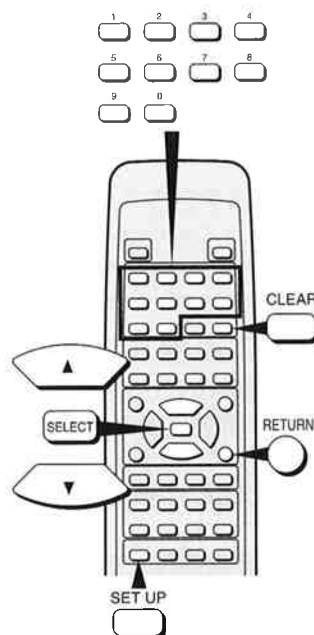
項目	1 音声言語	2 字幕言語	3 メニュー言語
内容	1 **日本語**（工場出荷時） 2 **英語** 3 **オリジナル** ディスクの最優先言語で再生したいとき 4 **その他＊＊＊＊** 上記以外の言語で再生したいとき 画面の指示に従って希望の言語番号（4桁）を入力してください。（言語番号一覧表⇒49ページ）	1 **オート**（工場出荷時） 音声言語に合わせて自動設定したいとき（⇒下記） 2 **日本語** 3 **英語** 4 **その他＊＊＊＊** 上記以外の言語で再生したいとき 画面の指示に従って希望の言語番号（4桁）を入力してください。（言語番号一覧表⇒49ページ）	1 **日本語**（工場出荷時） 2 **英語** 3 **その他＊＊＊＊** 上記以外の言語で再生したいとき 画面の指示に従って希望の言語番号（4桁）を入力してください。（言語番号一覧表⇒49ページ）

■1つ前の画面に戻るには
［RETURN］を押す。
変更した内容は無効になります。

■初期設定画面を消すには
元の画面に戻るまで［RETURN］を何回か押す。

視聴制限の設定（DVDビデオ）

DVDビデオに視聴制限レベルが記録されている場合は、ここで設定したレベルに応じて自動的に再生を禁止します。
制限レベルのない成人ソフトなどの場合は、レベル0（すべて不可）を選ぶことで全面的に再生を禁止することができます。



停止中に

SET UP



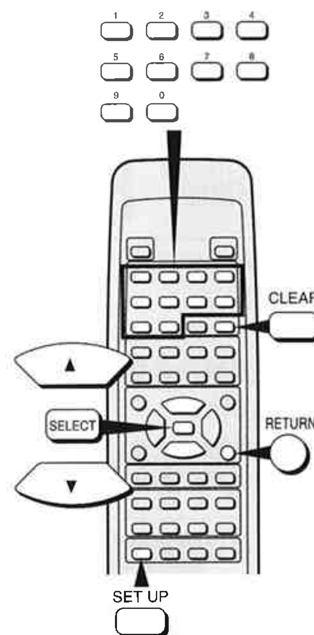
押す

1 ディスク言語		
2 視聴制限	レベル 8	
3 画面メニュー言語	日本語	
4 オンスクリーン		
5 FLディマー	明	
6 接続するTV	4：3	
7 デジタル出力		
8 スピーカー設定	マルチ チャンネル	
9 エキスパート設定		
リターンボタンで終了		

初期設定画面

視聴制限の変更（DVDビデオ）

●視聴制限（ロック）の解除
●暗証番号の変更
●レベルの変更
●一時解除
本機の電源を切るか、ディスクを取り出すまで、一時的に制限を解除します。



停止中に

SET UP



押す

1 ディスク言語		
2 視聴制限	レベル 7	
3 画面メニュー言語	日本語	
4 オンスクリーン		
5 FLディマー	明	
6 接続するTV	4：3	
7 デジタル出力		
8 スピーカー設定	マルチ チャンネル	
9 エキスパート設定		
リターンボタンで終了		

初期設定画面
（例：レベル7のとき）

■設定レベル以下のDVDビデオディスクを入れると
下の画面になります。この状態から視聴制限を一時的に解除することができます。
（電源を切るか、ディスクを取り出すと再び制限されます。）

このタイトルはプレーヤーの視聴制限レベルをこえています。
視聴制限のレベルを一時的に変更しますか？
する
しない

1．カーソルボタン（▲▼）で「する」または「しない」を選び、［SELECT］を押す。

「する」を選んだ場合のみ

2．暗証番号を入力する
3．［SELECT］を2回押す。

暗証番号は、忘れないようにしてください。視聴制限を設定すると、暗証番号を入力しない限り変更や解除ができなくなります。

① 「2 視聴制限」を選び
② [SELECT] を押す

① レベルを選び
② [SELECT] を押す

レベル0～7のとき

好みの暗証番号（4桁）を入力

2回押す

レベル8（工場出荷時）	すべてのDVDビデオを再生
レベル7～1	制限レベルが記録されているDVDビデオを禁止
レベル0	すべてのDVDビデオを禁止

① 「2 視聴制限」を選び
② [SELECT] を押す

暗証番号（4桁）を入力

押す

または 項目を選び、変更する

ロック解除	カーソルボタンで［1 ロック解除］を選び、[SELECT] を2回押す。
暗証番号変更	①カーソルボタンで［2 暗証番号変更］を選び、[SELECT] を押す。 ②番号ボタンで新しい暗証番号（4桁）を入力する。 ③[SELECT] を2回押す。
レベル変更	①カーソルボタンで［3 レベル変更］を選び、[SELECT] を押す。 ②カーソルボタンでレベルを選び、[SELECT] を押す。
一時解除	カーソルボタンで［4 一時解除］を選び、[SELECT] を2回押す。

■1つ前の画面に戻るには
[RETURN] を押す。
変更した内容は無効になります。

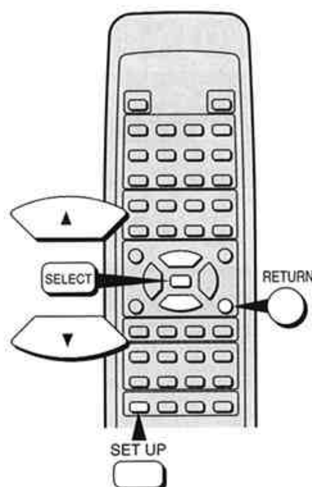
■画面に“決定ボタンを押してください”が表示されたときは
[SELECT] を押す。

■暗証番号を押し間違えたときは
[CLEAR] を押す。

■初期設定画面を消すには
元の画面に戻るまで [RETURN] を何回か押す。

画面メニュー言語の設定

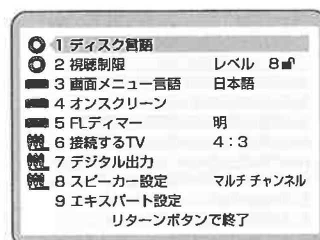
初期設定画面の言語や、操作時テレビ画面に表示される言語を設定します。(日本語、英語のみ)



停止中に

SET UP

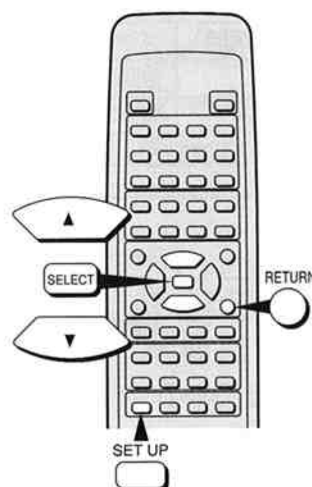
押す



初期設定画面

オンスクリーンの設定

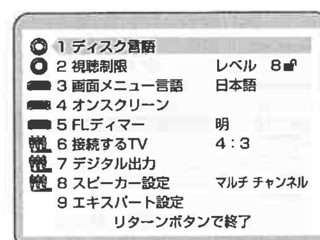
テレビ画面に「再生」などの文字を出さないようにしたり、画面表示(GUI 含む)の色や位置を設定できます。



停止中に

SET UP

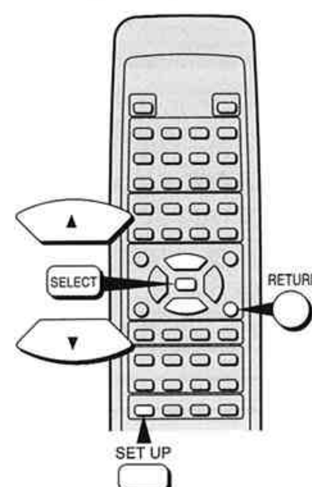
押す



初期設定画面

FLディマーの設定

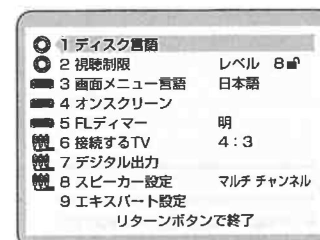
本体表示窓の明るさを設定します。



停止中に

SET UP

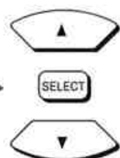
押す



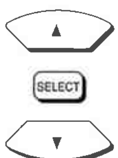
初期設定画面

■画面表示の位置について

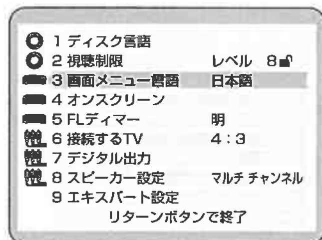
表示が画面から切れるような場合は、オンスクリーン設定の「色と位置」で、4、5または6を選んでください。

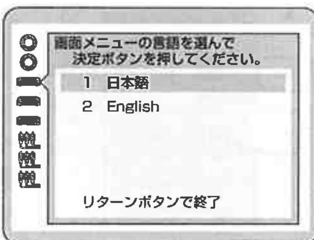


①「3 画面メニュー言語」を選び
② [SELECT] を押す

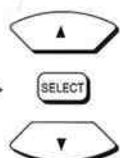


① 言語を選び
② [SELECT] を押す

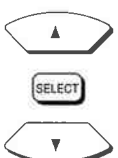




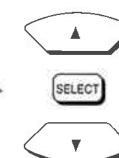
1 日本語（工場出荷時）
2 English（英語）



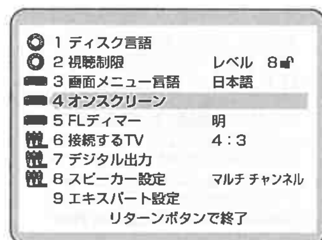
①「4 オンスクリーン」を選び
② [SELECT] を押す

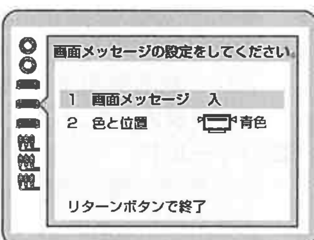


① 項目を選び
② [SELECT] を押す

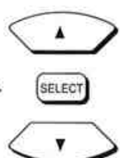


① 内容を選び
② [SELECT] を押す

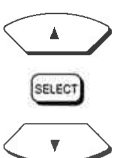




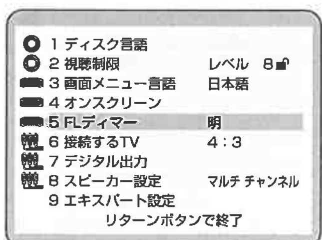
項目	1 画面メッセージ	2 色と位置
内容	1 入（工場出荷時） テレビ画面に「再生」や「停止」などの文字が表示されます。 2 切 文字は出ません。	1 青色（工場出荷時） 2 紫色 3 緑色 4 青色 5 紫色 6 緑色 （4〜6）やや下に表示したいとき（⇒下記）

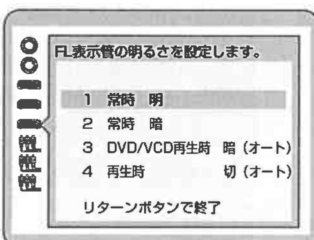


①「5 FLディマー」を選び
② [SELECT] を押す



① 明るさを選び
② [SELECT] を押す





1 常時　明（工場出荷時）
2 常時　暗
3 DVD/VCD 再生時　暗（オート）
4 再生時　切（オート）
3と4は、暗くしたお部屋で映画鑑賞をするときなどに便利です。この場合、早送り／早戻しやスロー再生などの操作を行ったときのみ、一時的に明るくなります。また3と4のときは本機の照明も切になります。

■1つ前の画面に戻るには
[RETURN] を押す。変更した内容は無効になります。

■画面に“決定ボタンを押してください”が表示されたときは
[SELECT] を押す。

■初期設定画面を消すには
元の画面に戻るまで [RETURN] を何回か押す。

エキスパート設定

本機をより便利に使うための特殊な設定や、接続のしかたに応じた設定変更などが行えます。

●**スチルモード**
静止画面のブレを抑えたいときや、画質をよくしたいときに設定します。

●**早送り時の音声**
早送り速度１のときに再生音が出る／出ないを設定します。

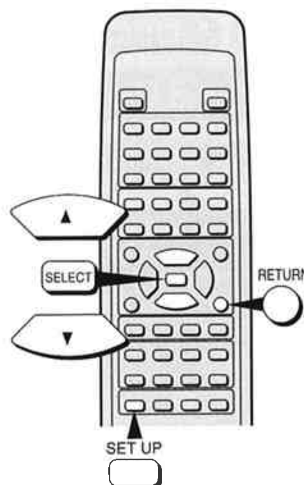
●**TVモード（4：3）**
従来サイズのテレビで、ワイドソフトを再生するときの設定を行います。

●**音声のダイナミックレンジ圧縮**
DVDのダイナミックレンジ（音量大小の差）を小さくすることができます。

●**I/P/Bインジケーター**
静止時に、画像の種類（I/P/B）を表示する／しないを設定します。

●**S端子出力S1／S2のモード**
後面S端子への接続に合わせて設定します。

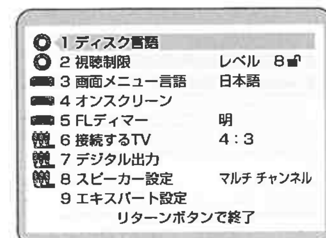
●**DVDビデオモード**
DVDオーディオディスクをDVDビデオとして再生します。



停止中に

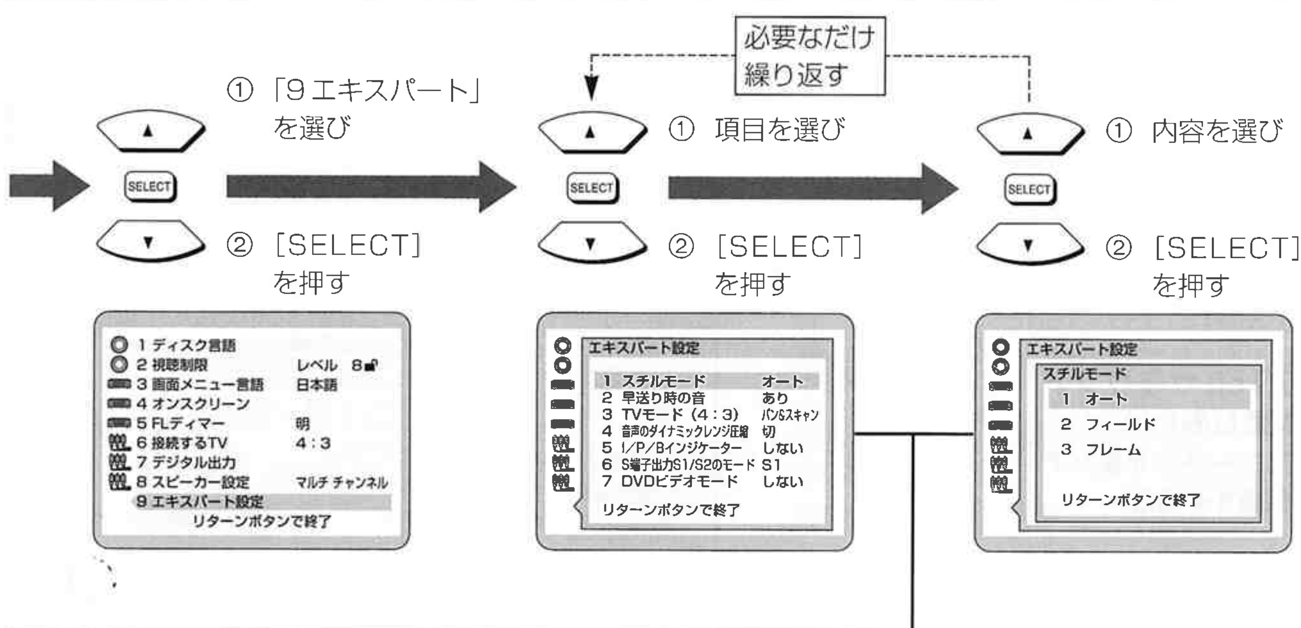
SET UP

押す



初期設定画面

項目	1 スチルモード	2 早送り時の音声
内容	**1 オート**（工場出荷時） 通常はこのモードにします。フィールドスチルとフレームスチルを自動的に切り換えます。 **2 フィールド** 静止画面が常にぶれないようにするとき。 ただし、映像情報がフレームの半分になるため画質は落ちます。 **3 フレーム** 静止画面を常に良い画質にしたいとき。 ただし、フィールドが交互に映し出されるため、画面はぶれます。 **ご参考** フィールド、フレームについては「用語解説」をご参照ください。(⇒53ページ)	**1 あり**（工場出荷時） 早送り速度１時に再生音を出したいとき。 **2 なし** 早送り速度１時に再生音を出したくないとき。 （この設定はDVDビデオとビデオCDのみ有効です。）



3 TV モード（4 ： 3）	4 音声のダイナミックレンジ圧縮	5 I/P/B インジケーター	6 S 端子出力 S1/S2 のモード	7 DVD ビデオモード
1 パン&スキャン（工場出荷時） ワイド画面のソフトを4 ： 3サイズのテレビで見る場合に、画面を大きくしたいとき。 サイズをテレビ画面の上下に合わせるため、左右が少し切れます。 パン&スキャン指定されていないソフトは、レターボックスで再生されます。 **2 レターボックス** ワイド画面のソフトを4 ： 3サイズのテレビで見る場合に、全部画面に映したいとき。 サイズをテレビ画面の左右に合わせるため、上下が余って黒い帯状になります。	**1 切**（工場出荷時） 標準の音量で聞くとき。 **2 入** 最大音量と最小音量の差を小さくして聞くとき。 ドルビーデジタルのソフトでのみ行えます。 たとえば、夜半に映画を鑑賞するときにセリフがはっきり聞こえる程度の音量にしておいても、大音量時のレベルが通常より低くなります。	**1 しない** （工場出荷時） 静止時に画像の種類（I/P/B）を表示させないとき。 **2 する** 静止時に画像の種類（I/P/B）を表示させるとき。 「2 する」に設定すると、静止時に次のような表示がでます。 スチル（P） **ご参考** I/P/B については「用語解説」をご参照ください。 （⇒53ページ）	**1 S1**（工場出荷時） テレビの S または S1 映像入力端子に接続しているとき。 ワイド画面のソフトを再生すると、テレビ画面が自動的に「フル」モードに切り換わります。 **2 S2** テレビの S2 映像入力端子に接続しているとき。 S1 の機能に加え、レターボックスのソフトを再生すると、テレビ画面が自動的に「ズーム」モードに切り換わります。	**1 しない** （工場出荷時） DVD オーディオをそのまま再生するとき。 **2 する** 本機を DVD ビデオ専用機にして DVD オーディオディスクを再生するとき。 動画部分のメニューをすべて使えるようになります。 **お知らせ** ディスクを取り出したり、電源を切ると "しない" に戻ります。

■1 つ手前のメニューに戻るには
[RETURN] を押す。
変更した内容は無効になります。

■初期設定画面を消すには
元の画面に戻るまで [RETURN] を何回か押す。

アンプやスピーカーを使ってシステムアップする — 接続・設置早見表

本機を使った音響システムを組む場合は、以下の表を参考に必要な接続や設定を行ってください。
くわしくは、各ページをご覧ください。

こんなときは	接続機器 *1	デジタル出力の設定（⇒44ページ）	スピーカーの設定（⇒46ページ）
A **DVDの5.1chサラウンドサウンドを楽しみたい**（内蔵のデコーダーを使う場合）	●5.1ch入力を持つアンプ ●5.1ch用スピーカーシステム （⇒41ページ）	●PCMダウンサンプリング変換を“しない”に設定	●接続した全スピーカーを“あり”に設定 ●出力バランス ●ディレイタイム
B **DVDの5.1chサラウンドサウンドを楽しみたい**（別売りのデコーダーを使ってシステムを拡張する場合）	●デコーダー ●5.1ch入力を持つアンプ ●5.1ch用スピーカーシステム （⇒42ページ）	●PCMダウンサンプリング変換を“する”に設定 ●Dolby DigitalとDTS Digital Surroundを“Bitstream”に設定 *2	設定不要 スピーカーの設定はデコーダーで行ってください。
C **2chのアナログアンプ（ドルビープロロジックアンプも含む）と接続したい**	● 2chアナログアンプ （⇒43ページ）	●PCMダウンサンプリング変換を“しない”に設定	設定不要 ただし、ドルビープロロジックアンプの場合は、アンプ側で設定してください。
D **2chデジタルアンプと接続したい**	● 2chデジタルアンプ （⇒43ページ）	●PCMダウンサンプリング変換を“する”に設定 ●Dolby DigitalとDTS Digital Surroundを“PCM”に設定	設定不要
E **カセットデッキなどで録音したい**（アナログ録音）	●カセットデッキなど ●アンプ （⇒43ページ）	●PCMダウンサンプリング変換を“しない”に設定	設定不要
F **MDなどでデジタル信号のまま録音したい**（デジタル録音）*3	● MDデッキなど （⇒43ページ）	●PCMダウンサンプリング変換を“する”に設定 ●Dolby DigitalとDTS Digital Surroundを“PCM”に設定	設定不要
G **スピーカー3つ、あるいは4つで接続したい。**（接続図は **A** を参照）	●5.1ch入力を持つアンプ ●お持ちのスピーカー*4 （⇒41ページ）	●PCMダウンサンプリング変換を“しない”に設定	●接続したスピーカーだけを“あり”に設定 ●出力バランス ●ディレイタイム

*1 接続機器は1例です。
*2 DTSに対応していないデコーダーの場合は、Dolby DigitalをBitstreamに、DTS Digital SurroundをPCMに設定してください。
*3 デジタル録音機器は、サンプリング周波数が48kHz/16bitに対応したものをご使用ください。
ディスクにコピーガードが入っている場合は、デジタル録音できません。
*4 たとえばスピーカーが3つのときはフロントとセンター、4つのときはフロントとサラウンドに接続します。

お願い

フロントスピーカー以外にスピーカーをお使いになる場合、V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）は必ず解除してください。レベル1やレベル2になっていると、フロント以外のスピーカーから音が出ません。

いろいろな接続のしかた

A　5.1ch サラウンドシステムを組むには（基本システム）

DVD オーディオを高音質で再生したり、DVD ビデオを使って本格的なホームシアターを楽しむための基本システムです。



本機後面

AUDIO OUT
DIGITAL OUT (PCM/BITSTREAM)
OPTICAL COAXIAL
5.1ch AUDIO OUT
CENTER
SURROUND
FRONT
SUB WOOFER
VIDEO OUT
S-VIDEO OUT
COMPONENT VIDEO OUT
AC IN

テレビやプロジェクターなどへの映像接続については、8ページをご覧ください。

DVD オーディオを2ch で楽しむときなど。

"CD" など

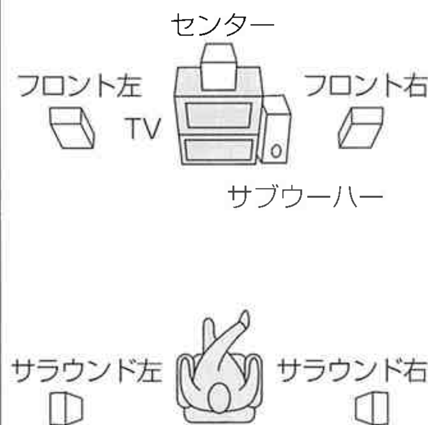
センター
サブウーハー
サラウンド 左 右
フロント 左 右

スピーカーコード（別売り）

DENON

5.1ch 入力端子付きアンプ

5.1ch スピーカーシステム（別売り）配置例



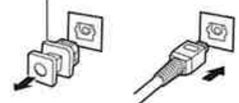
B　別売りのデコーダーを使って 5.1ch サラウンドシステムを組むには

入力端子が複数あるドルビーデジタル・DTS デコーダーを接続すると、システムを拡張する場合に便利です。

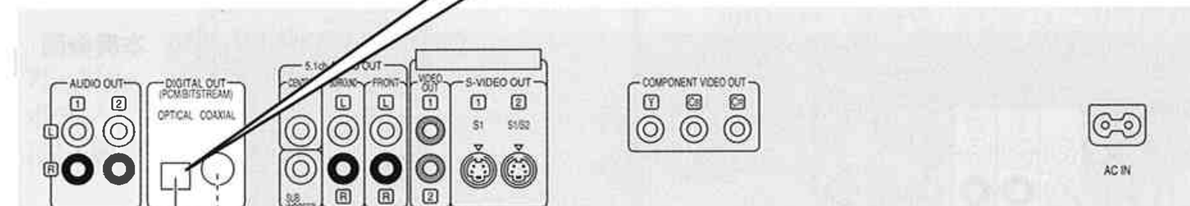
音声コード（市販）
白（左）　（左）
赤（右）　（右）

オプティカルデジタルケーブルの接続
- ●ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。
- ●端子を使用しないときは、防塵キャップを取り付けておいてください。

防塵キャップをはずす



本機後面



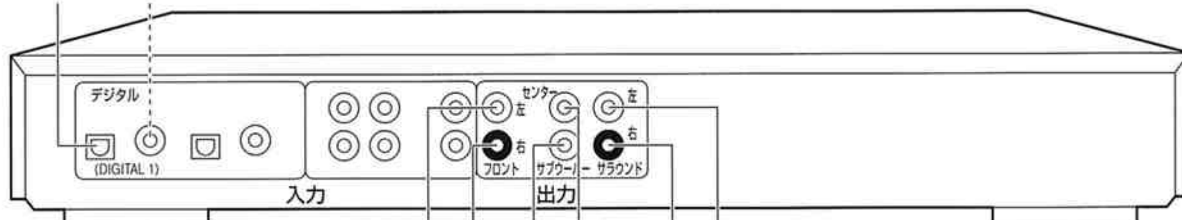
オプティカルデジタルケーブル（市販）

同軸ケーブル（市販）

テレビやプロジェクターなどへの映像接続については、8 ページをご覧ください。

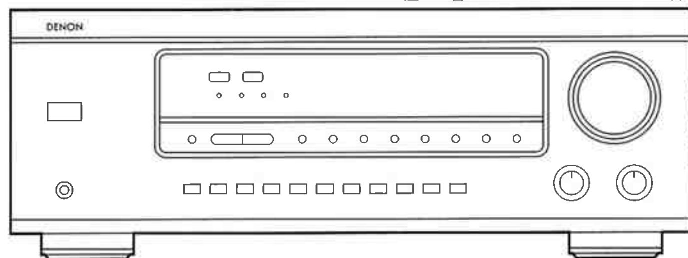
どちらか（両方とも接続したときは同軸ケーブルが優先。）

ドルビーデジタル・DTS デコーダー



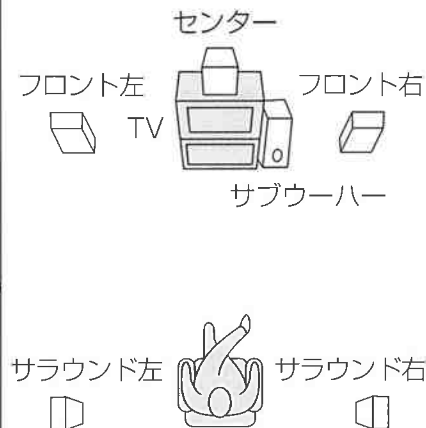
フロント 左 右　センター　サブウーハー　サラウンド 左 右

スピーカーコード（別売り）



5.1ch 入力端子付きアンプ

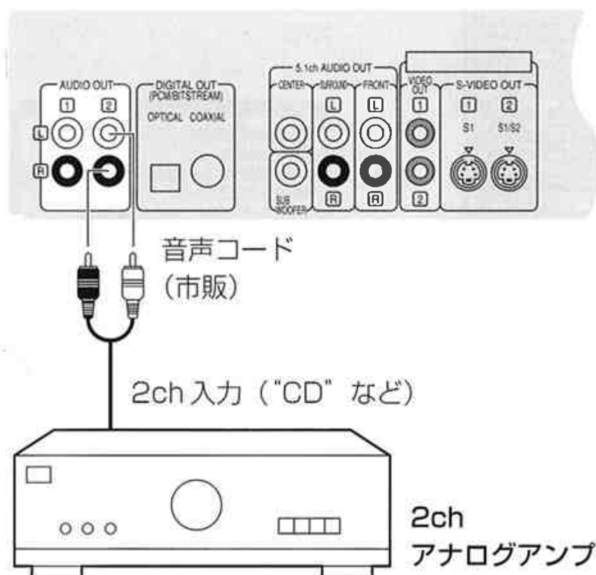
5.1ch スピーカーシステム（別売り）配置例



C　2ch アナログアンプと接続するには

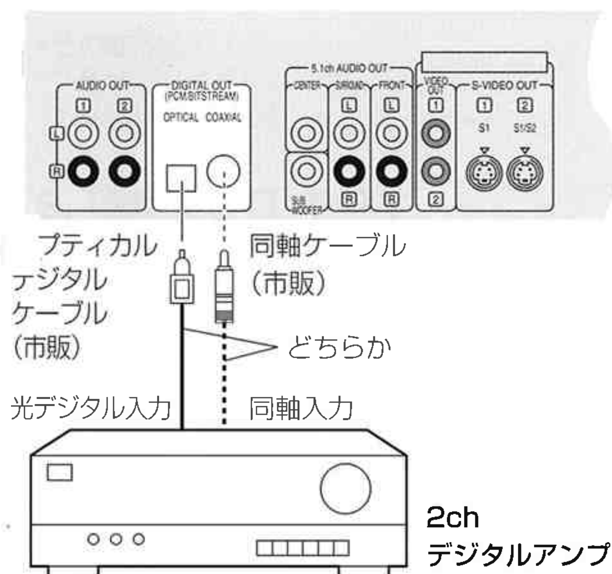
「音声出力」端子（空いている方）に接続してください。5.1ch の音声信号が入った場合も、常に全チャンネルを 2ch にミックスして出力します。

本機後面



D　2ch デジタルアンプと接続するには

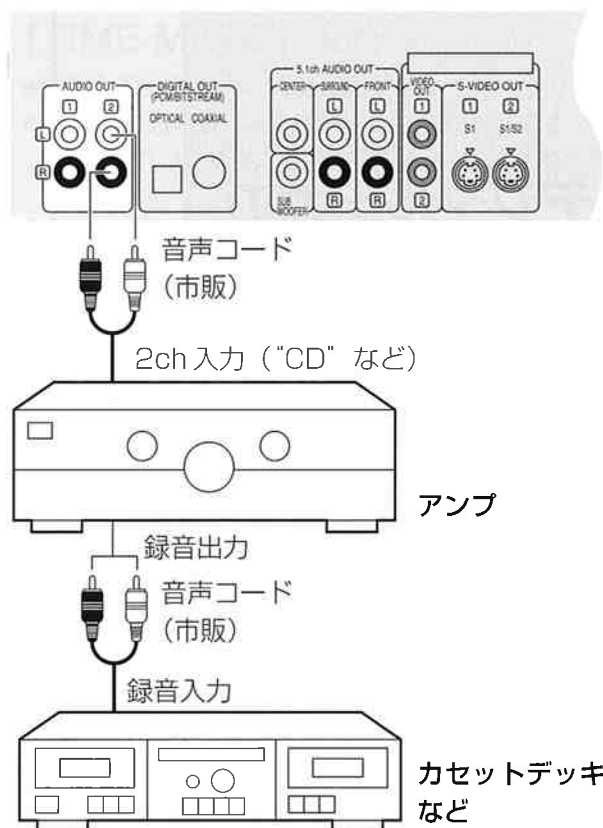
本機後面



E　アンプに接続したデッキで録音するには

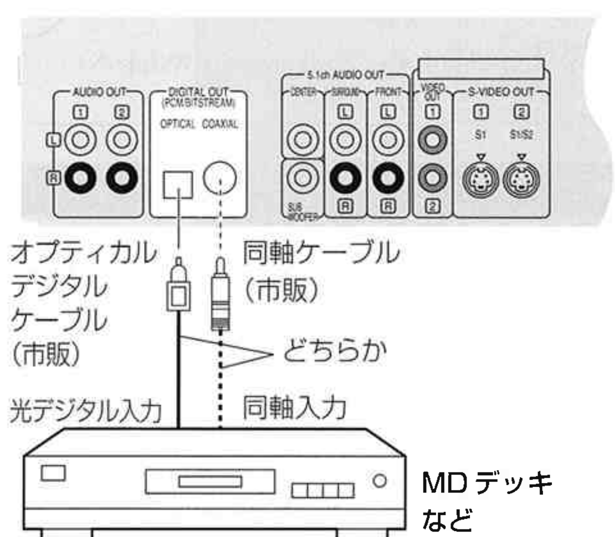
アンプを「音声出力」端子（空いている方）に接続してください。5.1ch 接続のみの場合は、フロントチャンネルの音声しかデッキに出力されません。

本機後面



F　MD などにデジタル録音するには

本機後面



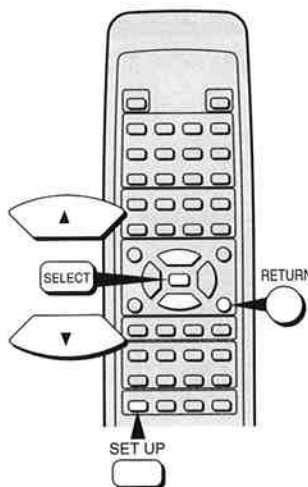
デジタル出力の設定

各機器との接続方法に応じて、本機の光／同軸端子から出るデジタル音声信号の種類を選びます。

●**PCM ダウンサンプリング変換**
DVD ビデオの 96kHz 音声信号を、48kHz/16bit に変換する／しないを選びます。

●**Dolby Digital**
接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態（Bitstream）で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態（PCM2ch）に処理して出力するかを選びます。

●**DTS Digital Surround**
上記のドルビーデジタルと同様の選択を、DTS 信号に対して行います。



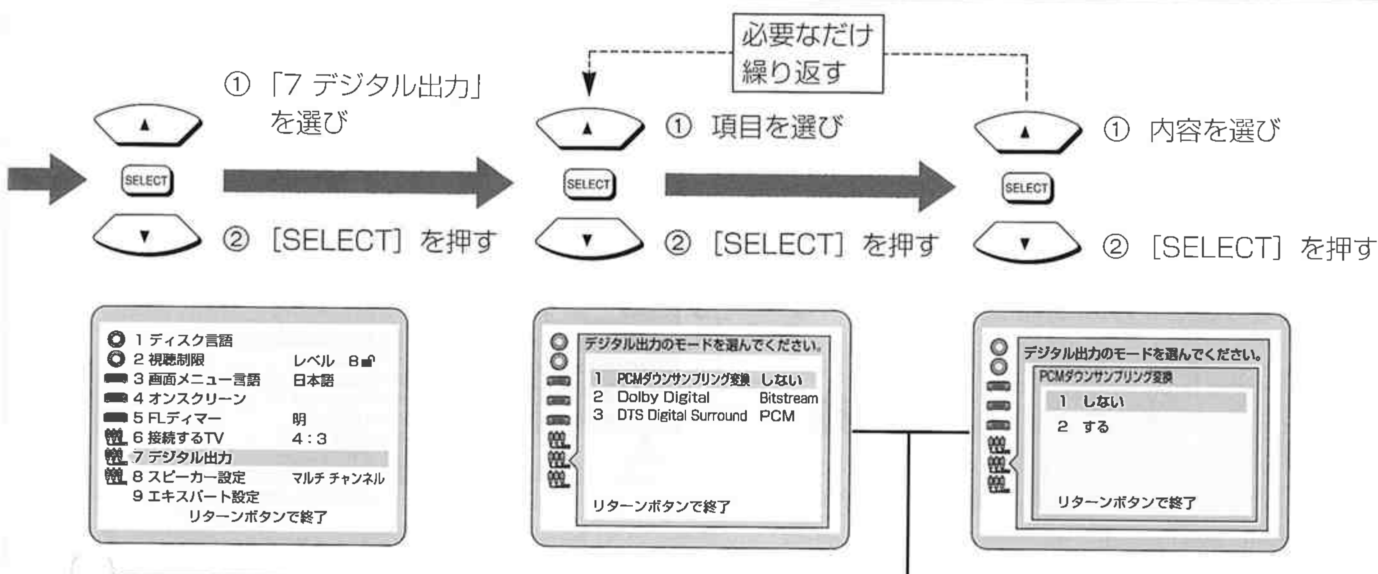
停止中に

SET UP

押す

1 ディスク言語
2 視聴制限　レベル　8
3 画面メニュー言語　日本語
4 オンスクリーン
5 FLディマー　明
6 接続するTV　4：3
7 デジタル出力
8 スピーカー設定　マルチ チャンネル
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

初期設定画面



項目	1 PCMダウンサンプリング変換* (DVDビデオのみ)	2 Dolby Digital	3 DTS Digital Surround
内容	1 しない(工場出荷時) ●96kHzのリニアPCMで記録された信号はデジタル出力しません。 ●48kHzで記録された信号は48kHz/16bitでデジタル出力します。 ●著作権保護の処理がされていないDVDの場合は、そのまま出力されることがあります。 2 する ●96kHz、48kHzで記録された信号をすべて48kHz/16bitで出力します。(これは著作権保護のためです。) ●アナログ出力の信号も同様に変換されます。	1 Bitstream (工場出荷時) 本機のデジタル端子と、ドルビーデジタルデコーダー(またはデコーダー内蔵アンプ)を接続するとき 2 PCM デコーダーを持たないデジタルアンプや、デジタル録音機器と接続するとき	1 PCM(工場出荷時) デコーダーを持たないデジタルアンプや、デジタル録音機器と接続するとき 2 Bitstream 本機のデジタル端子と、DTSデコーダー(またはデコーダー内蔵のアンプ)を接続するとき

* PCM出力のとき、DVDオーディオではすべての信号をダウンサンプリング変換して出力します。

デジタル出力設定についての補足

- 192kHzや96kHzの高音質を楽しむ場合は、再生用にデジタル端子を使わず、5.1chの音声出力端子にアンプを直接接続するのが基本です。この場合は、PCMダウンサンプリング変換を必ず"しない"に設定してください。
- デコーダーを持たない機器にデジタル接続する場合は、Dolby DigitalやDTS Digital Surroundを必ず"PCM"にしてください。"Bitstream"だと耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■1つ手前のメニューに戻るには

[RETURN] を押す。
変更した内容は無効になります。

■初期設定画面を消すには

元の画面に戻るまで [RETURN] を何回か押す。

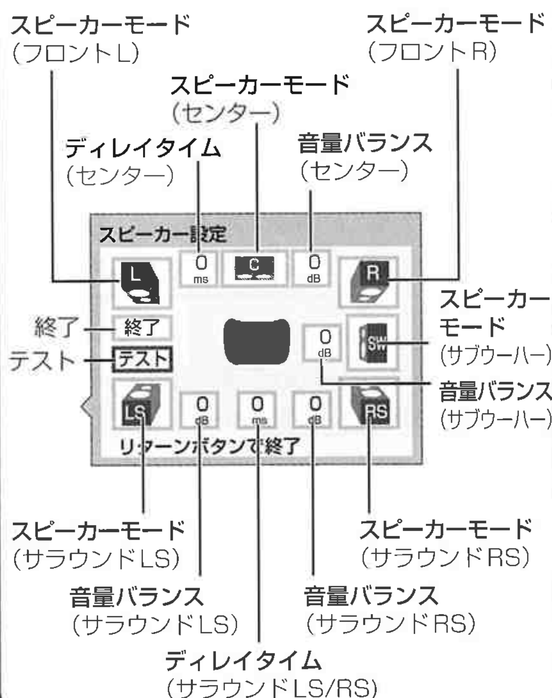
スピーカーの設定

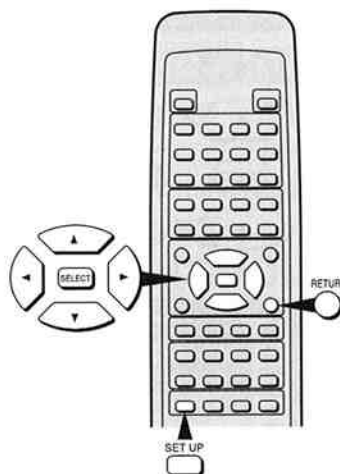
接続したスピーカーシステムに合わせて、以下の設定を行ってください。

●**スピーカーモード**
スピーカーのサイズと有無を設定します。(有無を正確に設定しないと、そのチャンネルの音が出なくなります。)

●**ディレイタイム(遅延時間)**
視聴位置と各スピーカーとの距離のバラツキを補正します。

●**テスト(音量バランスの調整)**
各スピーカーの音量バランスを調整します。

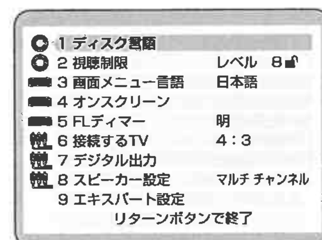




停止中に

SET UP


押す



初期設定画面

項目: スピーカーモード

内容:

下線は工場出荷時の設定です。
ラージ/スモールは、100Hz以下が再生できる(ラージ)か、再生できない(スモール)かを目安に選んでください。

フロントスピーカー(L/R)
あり(ラージ) あり(スモール)

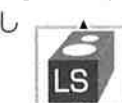
センタースピーカー
あり(ラージ) あり(スモール) なし

サブウーハー
あり なし

サラウンドスピーカー(LS/RS)
あり(ラージ) あり(スモール) なし

表示例
(サラウンドLSの場合)

●あり(ラージ)



●あり(スモール)



●なし

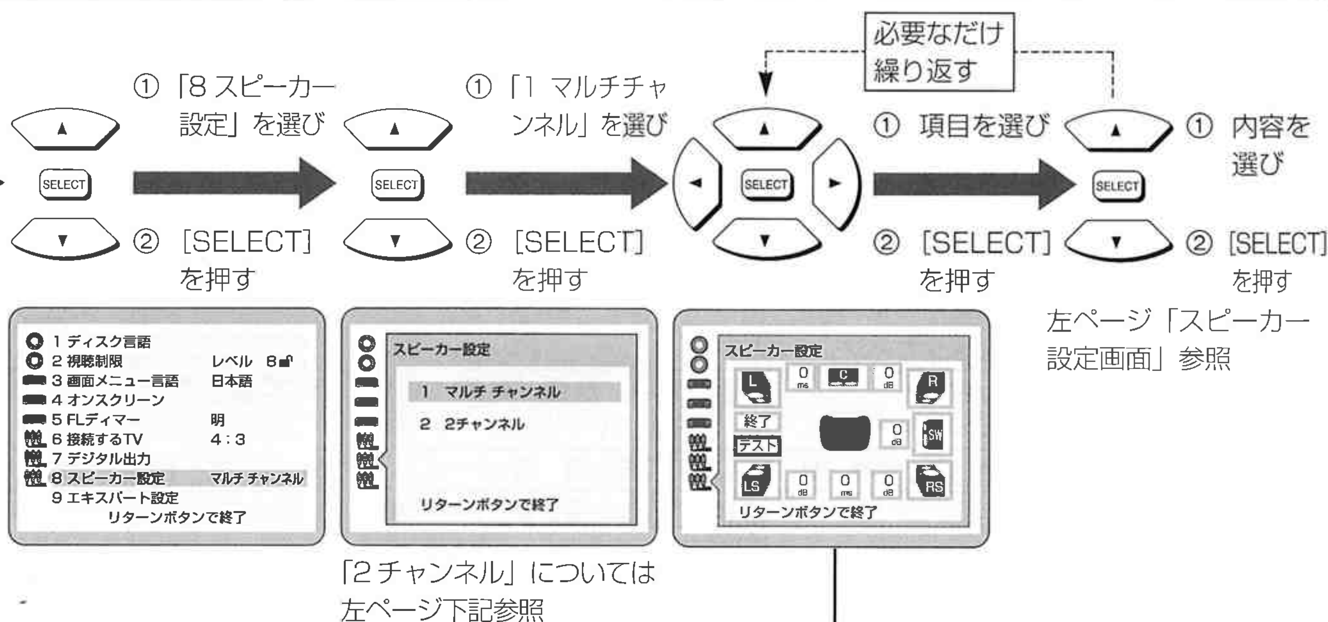


お願い
サブウーハーを「なし」にする場合は、100Hz以下が再生できるフロントスピーカーをお勧めします。

お知らせ
DVDオーディオの場合、ソフト側の設定が優先され上記のスピーカーモード設定通りに音が出ないことがあります。(本体表示窓で"P. PCM"が点灯、または"D. MIX"が消灯状態になります。)

■「2チャンネル」を選ぶ場合
音声コードを、5.1ch音声出力端子のフロント左右だけに接続している場合に選んでください。([SELECT]を押すと決定し、最初の設定画面に戻ります。)

アンプ（またはデコーダー）にオプティカルデジタルケーブルか同軸ケーブルで接続している場合は、スピーカー設定はアンプ（またはデコーダー）側で行ってください。

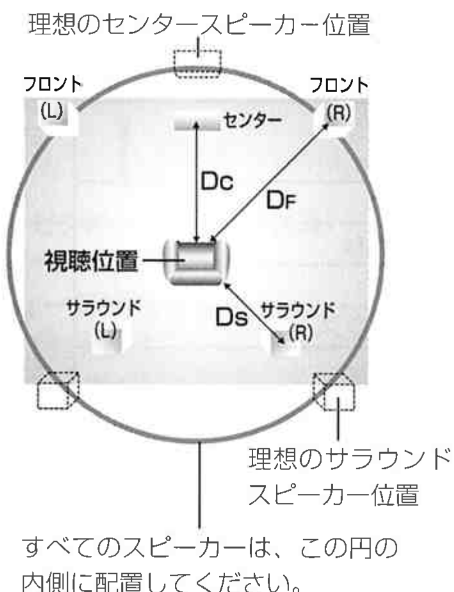


左ページ「スピーカー設定画面」参照

「2 チャンネル」については左ページ下記参照

ディレイタイム（遅延時間）

5.1ch サラウンドサウンドは、視聴位置と、サブウーハーを除くすべてのスピーカーとの距離が同じであることが理想とされます。
ディレイタイムは、センタースピーカーとサラウンドスピーカーから音が出る時間を遅らせることで、距離のずれを補正し、全スピーカーの音が同じタイミングで視聴位置まで届くようにします。（DTS および DVD オーディオは調整できません。）



すべてのスピーカーは、この円の内側に配置してください。

●センタースピーカー

左図の距離 D_F が D_C より短いか、もしくは等しい場合は、0 ms にします。

距離 $D_F - D_C$	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

●サラウンドスピーカー

左図の距離 D_F と D_S が等しい場合、0 ms にします。

距離 $D_F - D_S$	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

初期設定値は、いずれも 0 ms です。

テスト（音量バランスの調整）

「テスト」を選ぶと、フロントスピーカー（L）から時計回りに、ザーというテスト信号が出てきます。

フロント（L）→センター →フロント（R）
↑ ↓
サラウンド（LS） ← サラウンド（RS）

フロントスピーカーの音量に合わせ、他のスピーカーを同じ音量に調整してください。（フロントスピーカーは調整できません。また、サブウーハーからは信号がでません。）

音量を調整するには

調整したいスピーカーからテスト信号が出ているときに、カーソルボタンを上下に動かします。（調整中は、信号が他のスピーカーに移動することはありません。）

テスト信号を止めるには

[SELECT] を押します。

サブウーハーの音量を調整するには

実際の音を聞いた後、スピーカー設定画面（左ページ）でサブウーハーの音量バランスを選んで調整してください。

■1 つ手前のメニューに戻るには

[RETURN] を押す。
変更した内容は無効になります。

■スピーカーの設定を終了するには

“終了” を選んで [SELECT] を押す。

■初期設定画面を消すには

元の画面に戻るまで [RETURN] を何回か押す。

初期設定一覧表

ここでは、再生操作の前にあらかじめ設定しておける内容（初期設定）を一覧表にしています。
くわしくは各ページをご覧ください。（下線は工場出荷時の設定です。）

設定メニュー	項目と内容			ページ
1　ディスク言語	音声言語		日本語／英語／オリジナル／その他	32
	字幕言語		オート／日本語／英語／その他	
	メニュー言語		日本語／英語／その他	
2　視聴制限	8 すべて視聴可／7／6／5／4／3／2／1／0 すべて不可			34
3　画面メニュー言語	日本語／English			36
4　オンスクリーン	画面メッセージ		入／切	36
	色と位置		青色／紫色／緑色／青色（やや下）／紫色（やや下）／緑色（やや下）	
5　FL ディマー	常時　明／常時　暗／DVD VCD 再生時　暗（オート）／再生時　切（オート）			36
6　接続する TV	4：3		標準（ブラウン管テレビ）／3 管式プロジェクター／液晶プロジェクター／プロジェクションテレビ	9
	16：9		標準（ブラウン管テレビ）／3 管式プロジェクター／液晶プロジェクター／プロジェクションテレビ	
7　デジタル出力	PCM ダウンサンプリング変換		しない／する	44
	Dolby Digital		Bitstream／PCM	
	DTS Digital Surround		PCM／Bitstream	
8　スピーカー設定	マルチチャンネル	スピーカーモード	フロント（L／R）：あり（ラージ）／あり（スモール） センター：あり（ラージ）／あり（スモール）／なし サブウーハー：あり／なし サラウンド（LS／RS）：あり（ラージ）／あり（スモール）／なし	46
		ディレイタイム	センター：0／1.3／2.6／3.9／5.3 ms サラウンド：0／5.3／10.6／15.9 ms	
		チャンネルバランス	全チャンネル：0／± 6dB	
	2 チャンネル			
9　エキスパート設定	スチルモード		オート／フィールド／フレーム	38
	早送り時の音声		あり／なし	
	TV モード（4：3）		パン&スキャン／レターボックス	
	音声のダイナミックレンジ圧縮		切／入	
	I/P/B インジケーター		しない／する	
	S 端子出力 S1／S2 のモード		S1／S2	
	DVD ビデオモード		しない／する	

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

テレビ画面一覧表

テレビに映し出される映像は、ソフトとテレビ（や画質モード）との関係で以下の画面になります。

テレビ（画質モード） ／ ソフト	4：3	16：9（フルモード）	16：9（ズームモード）	16：9（オートモード）
ワイドソフト（パン&スキャン指定あり）	左右が切れた画面	フル画面	上下が切れた画面	フル画面
ワイドソフト（パン&スキャン指定なし）	レターボックス（上下に黒い帯）			
4：3ソフト	フル画面	左右にのびた画面	上下が切れた画面	フル画面（左右に黒い帯）
4：3ソフト（レターボックス）	レターボックス（上下に黒い帯）	左右にのびた画面（上下に黒い帯）	フル画面	左右両端がのびた画面（上下に黒い帯）

- ソフトや画質モードの呼びかたはメーカーにより異なる場合があります。
- パン&スキャンとは、ワイドソフトの両側（または片側）をカットしてテレビ画面全体に映し出すことです。

言語番号一覧表

6565：アファル
6566：アブハジア
6570：アフリカーンス
6577：アムハラ
6582：アラビア
6583：アッサム
6588：アイマラ
6590：アゼルバイジャン
6665：バシキール
6669：ベロルシア（白ロシア）
6671：ブルガリア
6672：ビハール
6678：ベンガル（バングラ）
6679：チベット
6682：ブルターニュ
6765：カタロニア
6779：コルシカ
6783：チェコ
6789：ウェールズ
6865：デンマーク
6869：ドイツ
6890：ブータン
6976：ギリシャ
6978：英語
6979：エスペラント
6983：スペイン
6984：エストニア
6985：バスク
7065：ペルシャ
7073：フィンランド
7074：フィジー
7079：フェロー
7082：フランス
7089：フリジア
7165：アイルランド
7168：（スコットランド）ゲール
7176：ガリチア
7178：グアラニー
7185：グジャラト
7265：ハウサ
7273：ヒンディー
7282：クロアチア
7285：ハンガリー
7289：アルメニア
7365：インターリングア
7378：インドネシア
7383：アイスランド
7384：イタリア
7387：ヘブライ
7465：日本語
7473：イディッシュ
7487：ジャワ
7565：グルジア
7575：カザフ
7576：グリーンランド
7577：カンボジア
7578：カンナダ
7579：韓国（朝鮮）語
7583：カシミール
7585：クルド
7589：キルギス
7665：ラテン
7678：リンガラ
7679：ラオ
7684：リトアニア
7686：ラトビア（レット）
7771：マダガスカル
7773：マオリ
7775：マケドニア
7776：マラヤーラム
7778：モンゴル
7779：モルダビア
7782：マラッタ
7783：マライ（マレー）
7784：マルタ
7789：ビルマ
7865：ナウル
7869：ネパール
7876：オランダ
7879：ノルウェー
7982：オーリヤ
8065：パンジャブ
8076：ポーランド
8083：パシュト
8084：ポルトガル
8185：ケチュア
8277：レトロマンス
8279：ルーマニア
8285：ロシア
8365：サンスクリット
8368：シンド
8372：セルボクロアチア
8373：シンハラ
8375：スロバキア
8376：スロベニア
8377：サモア
8378：ショナ
8379：ソマリ
8381：アルバニア
8382：セルビア
8385：スンダ
8386：スウェーデン
8387：スワヒリ
8465：タミル
8469：テルグ
8471：タジク
8472：タイ
8473：ティグリニア
8475：トルクメン
8476：タガログ
8479：トンガ
8482：トルコ
8484：タタール
8487：トウイ
8575：ウクライナ
8582：ウルドゥー
8590：ウズベク
8673：ベトナム
8679：ヴォラピュック
8779：ウォロフ
8872：コーサ
8979：ヨルバ
9072：中国語
9085：ズールー

各部のなまえと表示

本体

ON/STANDBY（電源）ボタン
電源入／切の切り換え（⇒ 9 ページ）
「切」のときスタンバイランプが点灯します。
（スタンバイとは、電源切り後もメモリー保持などのために微量の電力消費が行われている状態をいいます。）

AUDIO ONLY ボタン
映像信号出力を停止（⇒ 11 ページ）

GROUP 選択ボタン
DVD オーディオのグループを選択（⇒ 11 ページ）

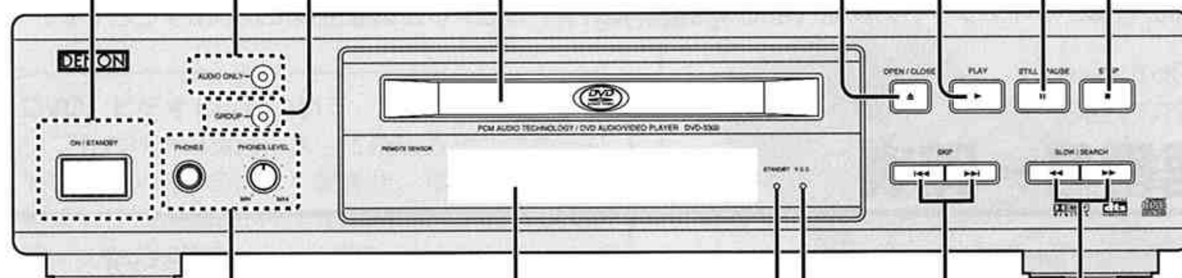
ディスクトレイ（⇒ 10 ページ）

ディスクトレイ開閉ボタン（⇒ 11 ページ）

再生ボタン（⇒ 11 ページ）

一時停止（静止）ボタン
（⇒ 14 ページ）

停止ボタン
（⇒ 11 ページ）



表示窓

スキップボタン
映像や音楽を頭出しする。（⇒ 14 ページ）
⏮ ：戻し方向
⏭ ：送り方向

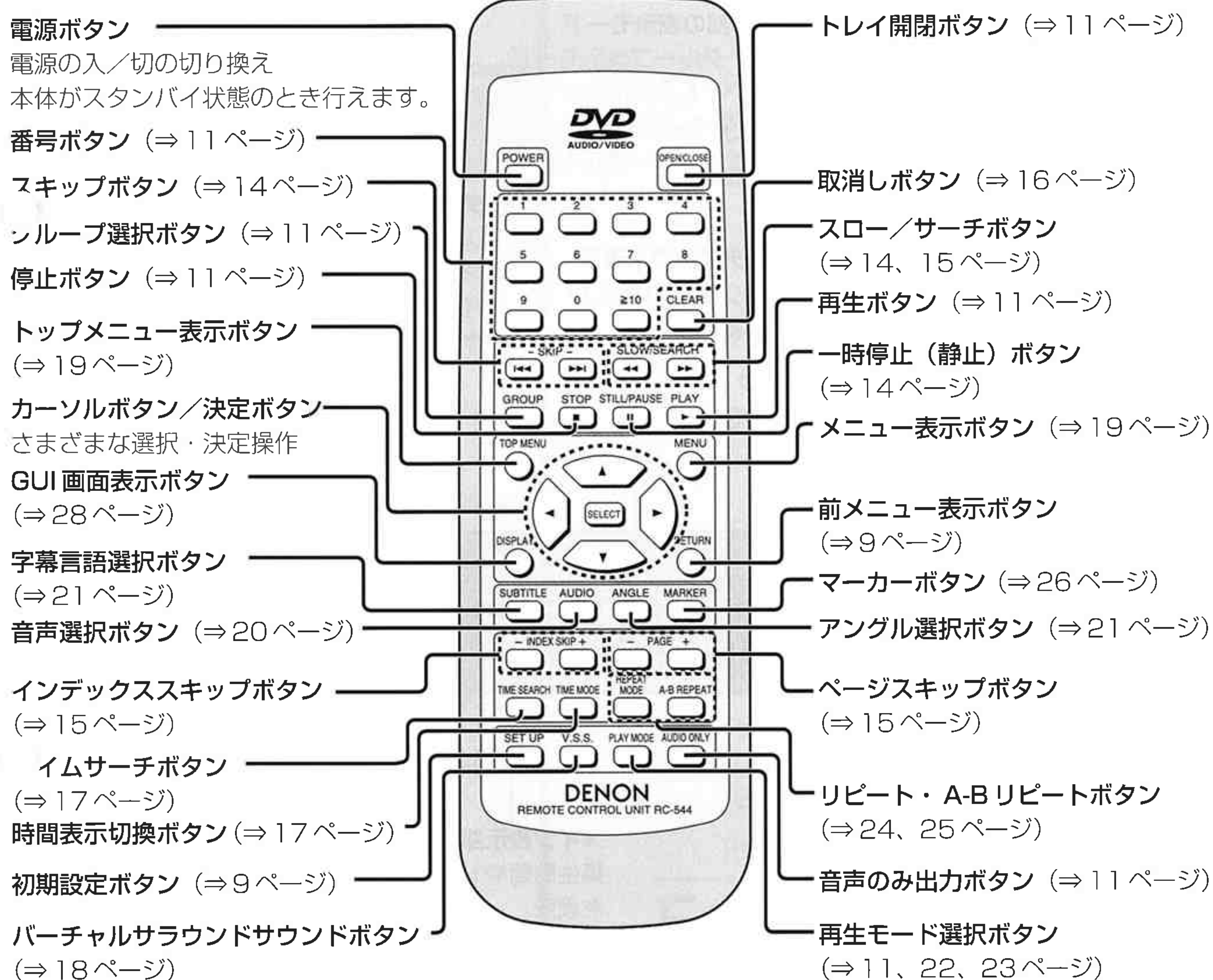
スロー／サーチボタン
早送り／早戻しする。
（⇒ 14 ページ）
◀◀ ：戻し方向
▶▶ ：送り方向

PHONES LEVEL（ヘッドホンレベル）調整端子・つまみ
（⇒ 17 ページ）

V.S.S.モードランプ
SPEAKER（スピーカー）モードと PHONES（ヘッドホン）モードを示す。（⇒ 18 ページ）

スタンバイランプ
電源「切」のときスタンバイランプが点灯。

リモコン



電源ボタン
電源の入／切の切り換え
本体がスタンバイ状態のとき行えます。
番号ボタン（⇒11ページ）
スキップボタン（⇒14ページ）
ループ選択ボタン（⇒11ページ）
停止ボタン（⇒11ページ）
トップメニュー表示ボタン
（⇒19ページ）
カーソルボタン／決定ボタン
さまざまな選択・決定操作
GUI画面表示ボタン
（⇒28ページ）
字幕言語選択ボタン
（⇒21ページ）
音声選択ボタン（⇒20ページ）
インデックススキップボタン
（⇒15ページ）
イムサーチボタン
（⇒17ページ）
時間表示切換ボタン（⇒17ページ）
初期設定ボタン（⇒9ページ）
バーチャルサラウンドサウンドボタン
（⇒18ページ）
トレイ開閉ボタン（⇒11ページ）
取消しボタン（⇒16ページ）
スロー／サーチボタン
（⇒14、15ページ）
再生ボタン（⇒11ページ）
一時停止（静止）ボタン
（⇒14ページ）
メニュー表示ボタン（⇒19ページ）
前メニュー表示ボタン
（⇒9ページ）
マーカーボタン（⇒26ページ）
アングル選択ボタン（⇒21ページ）
ページスキップボタン
（⇒15ページ）
リピート・A-Bリピートボタン
（⇒24、25ページ）
音声のみ出力ボタン（⇒11ページ）
再生モード選択ボタン
（⇒11、22、23ページ）
DVD
AUDIO/VIDEO
POWER
OPEN/CLOSE
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
≧10
CLEAR
– SKIP –
SLOW/SEARCH
GROUP
STOP
STILL/PAUSE
PLAY
TOP MENU
MENU
SELECT
DISPLAY
RETURN
SUBTITLE
AUDIO
ANGLE
MARKER
– INDEX SKIP +
– PAGE +
TIME SEARCH
TIME MODE
REPEAT MODE
A-B REPEAT
SET UP
V.S.S.
PLAY MODE
AUDIO ONLY
DENON
REMOTE CONTROL UNIT RC-544

表示窓

再生モード表示
PGM ：プログラム再生
RND ：ランダム再生
⮌ ：リピート再生
A-B⮌ ：A-B リピート再生

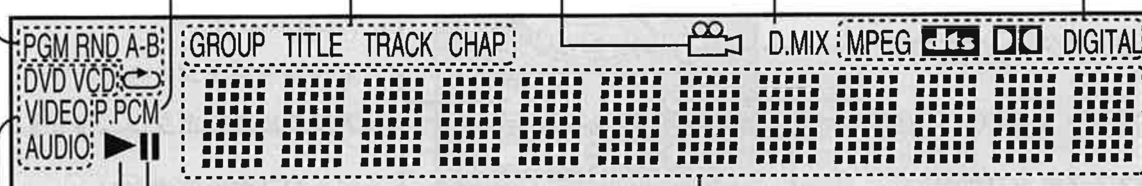
P.PCM 表示
Packed（パックド） PCM 信号が入ると点灯

メイン表示部の表示モード
GROUP ：グループ表示モード
TITLE ：タイトル表示モード
TRACK ：トラック表示モード
CHAP ：チャプター表示モード

音声信号タイプ表示
DDIGITAL ：ドルビーデジタル信号
dts ：DTS 信号
MPEG ：MPEG（エムペグ） 信号

ダウンミックス表示
DVD オーディオの音声信号をダウンミックス（多 ch 信号を 2ch に集約）できるとき点灯

マルチアングル表示
アングル切り換えができるとき点灯



一時停止（静止）表示

再生表示

ディスク表示
DVD AUDIO ：DVD オーディオ
DVD VIDEO ：DVD ビデオ
VCD ：ビデオ CD
CD ：音楽 CD

メイン表示部
再生時間やトラック番号など。また各種メッセージを表示。
メッセージの例

No Disc	ディスクが入っていないとき
No Play	再生できないとき ●視聴制限をしている DVD ●リージョン番号が、2、ALL 以外の DVD ビデオ ●PAL 方式の DVD ビデオ／ビデオ CD

用語解説

映像についての用語

フレーム
動画の1コマ1コマのこと。
たとえばテレビでは、1秒間に30コマ（静止画像）を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。


1フレーム

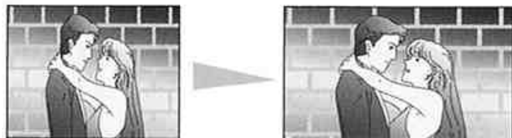
フィールド
1フレームの映像情報を2つに分けたもの。
通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで1フレームを構成しています。


1フィールド

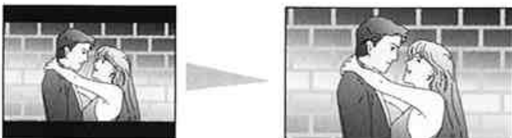
フレームスチル／フィールドスチル
動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。
フレームスチルでは、2フィールドを交互に映し続けるため画面にブレを生じますが、画質は良くなります。フィールドスチルでは、映像情報が半分のため画質が荒くなりますが、画面のブレはありません。

I/P/B
DVDビデオで採用されている映像方式MPEG2では、1画面（フレーム）を、以下の3つのピクチャータイプに分け、デジタル信号に符号化しています。
I：I-Picture（フレーム内符号化）
基準の画面であり、単独で画面を構成します。画質がもっとも良く、画像調整する場合はこの静止画面が適しています。
P：P-Picture（前方向予測符号化）
過去のPicture（IまたはP）から算出される画面。
B：B-Picture（両方向予測符号化）
前後のPicture（IまたはP）の比較から算出されるもので、画像情報がもっとも少ない画面です。

S1映像信号
4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。



S2映像信号
S1の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。



デジタル音声についての用語

デコーダー
DVDなどに符号化して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声記録方式。圧縮率が高く、1枚のディスクに大量のデータを収録できます。

DTS Digital Surround
DTS社が開発したデジタル音声記録方式。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

サンプリング周波数
サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間間隔で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化すること。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多いほど元の音を精密に再現できます。

リニアPCM（Pulse Code Modulation）
音楽CDなどで一般に使用されているデジタル信号方式。DVDディスクは容量が多いため、CD以上のサンプリング周波数を用いたリニアPCM信号を収録することができます。
また、この信号をコンパクトにしたものをパックドPCMといいます。

Bitstream（ビットストリーム）
5.1chなどの音声データを各チャンネルにデコードする前のデジタル信号。

その他の用語

トラック
DVDオーディオ、CD、ビデオCDの小さな区切り。

インデックス
DVDオーディオのトラックをさらに区切った場合の単位。

チャプター
DVDビデオの小さな区切り。CDなどのトラックに当たります。

グループ
DVDオーディオでは、収録されているトラックをいくつかのグループに分けています。グループのしかたはディスクによって異なります。

タイトル
DVDビデオの一番大きな区切り。

プレイバックコントロール（PBC）
バージョン2.0のビデオCDで使われている再生方式。メニューを選びながら再生するなど、対話形式で操作できます。

使用上のお願い／お手入れ

ディスクについて



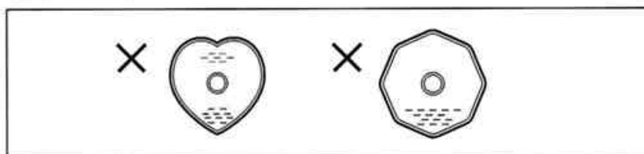






のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型や八角形など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
（機器の故障の原因になります。）

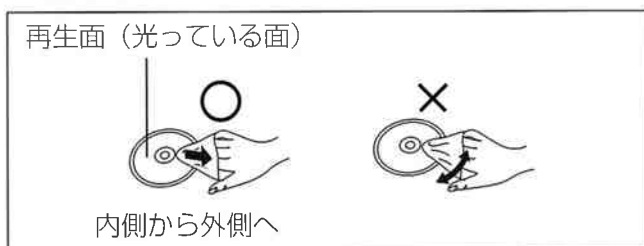


■**持ちかた**



■**汚れたときは**

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



■**露がついたら**

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱い上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない

ディスクの保管

■**次のような場所に置かない**

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

本機のお手入れ

■**本機が汚れたら**

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

本機を移動するときは

1. **ディスクをすべて取り出す**
2. **[ON/STANDBY]を押して電源を切る**
3. **電源プラグを抜く**

ディスクのメカの故障防止について

- トレイには、1枚のディスクを入れる
- ディスクは正しく置く
- シングルディスク（8cmディスク）アダプターを使わない
- 水平なところで使用する。本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しないでください
- トレイが動いている間や、ディスクを入れたまま本機を移動しない
- トレイにディスク以外のものを入れない
- クリーニングディスク、そりの大きなディスク、割れたりヒビの入っているディスクを使わない

著作権について

ディスクは無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権により保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
共通	マイクを接続できるか	・本機には接続できません。	
	スピーカーを直接つなげるか	・本機には接続できません。	
	引っ越しても使えるか	・東日本、西日本に関係なく使えます。（電源の周波数は自動的に切り換わります。）	
	海外でも使えるか	・本機は日本国内専用です。海外では電源圧力などが異なるため使用できません。	
DVD	外国で買ったDVDビデオは再生できるか	・リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、NTSC方式であれば再生できます。	6
	ビデオで録画できるか	・ほとんどのDVDディスクはコピー禁止処理がされており、録画できません。	
	デジタル録音できるか	・192kHzや96kHzの信号はそのままではデジタル録音できませんが、48kHzに変換することで行えるようになります。ただし曲によってはデジタル録音を完全に禁止している場合もあります。	44
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	・DVDオーディオにリージョン番号はありません。DVDビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表わしています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。	6
	スポットライト機能やリアルタイムテキスト機能は使えるか	・本機では対応していません。	
	テレビやビデオなどに比べて音が小さいが	・5.1chの音声信号はダイナミックレンジ（音量大小の幅）が広いため、一般的には小さく聞こえます。	10
その他のディスク	外国で買ったビデオCDは再生できるか	・NTSC方式であれば再生できます。	6
	CD-Rは再生できるか	・再生できません。その他も不明な場合は、ディスクのロゴをご確認ください。	6

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
共通	勝手に電源が切れる。	・節電のため、停止状態が30分続くと自動的にスタンバイ状態になります。再度電源を入れてください。	
共通	再生ボタンを押しても、再生が始まらない。またすぐに止まる。	・露付きが発生していませんか。(2～3時間放置してください。) ・DVD、ビデオCD、音楽CD以外のディスクを入れてませんか。 ・ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ・ラベル面を上にして正しく入れてください。	 6 54 10
共通	映像が映らない。または画面サイズがおかしい。	・テレビの入力切換を確認してください。 ・接続とテレビの設定を確認してください。 ・本体表示窓に“PAL Disc Audio only”が出ている場合は、PAL方式のDVDオーディオが入っています。(音声のみ再生可能です。)	8、9
共通	音が出ない。または音がおかしい。	・接続と音声の設定を確認してください。 ・DVDオーディオの多チャンネル再生時に、本体ディスプレイの“D. MIX”表示が消灯しているときは、ディスク側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できません。 ・V.S.S. を切り換えるか、または“切”にしてください。 ・本体表示窓に“Error Track”が表示されている場合は、規格違反のDVDオーディオトラックを再生しています。 ・オーディオオンリー機能をオンしたとき、テレビによっては映像が映らなくなるだけでなく、音も出なくなる場合があります。	40
共通	ボタン操作ができない。	・ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。 ・まったく動作しない場合は、本体の電源ボタンを1度入／切してみてください。落雷や静電気などの影響で、正常に動作しなくなる場合があります。	
共通	画面メッセージが出ない。	・オンスクリーン設定の「画面メッセージ」を“入”にしてください。	36
共通	GUI画面の表示が切れる。	・オンスクリーン設定の「色と位置」で、GUI画面の位置を変更してください。	36
共通	表示部が暗い。または表示が出ない。	・FLディマー設定で明るさを切り換えてください。	36
共通	早送り／早戻しをすると画像が乱れる。オーディオオンリーを解除したとき一瞬画面が揺れる。	・多少乱れることがありますが、故障ではありません。	
共通	ラジオ電波による雑音や、テレビ画面に障害が出る。	・本機とラジオやテレビとの距離を離したり、使っていない機器の電源を切ってください。ラジオやテレビで室内アンテナを使用している場合は室外アンテナに替えるのも一つの方法です。	

	こんなとき		ここを確認・処置してください	参照ページ
DVD	タイトルを選んでも、再生が始まらない。	▶	・視聴制限が設定されていると、再生できないタイトルもあります。	34
	字幕が出ない。	▶	・DVDに字幕が記録されていません。 ・GUI設定で字幕が“切”になっている場合は“入”にしてください。	30
	音声言語や字幕言語が切り換えられない。	▶	・DVDに複数の言語が入っていません。 ・リモコンの［音声］［字幕］ボタンではなく、メニューでのみ切り換えられるタイプのDVDもあります。	
	アングルを切り換えられない。	▶	・マルチアングルのDVDでも、それが記録された場所以外では切り換わりません。（本機の表示窓に“ ”が点灯します。また多くの場合は、テレビ画面にマルチアングルの表示が出ます。）	21
	あらかじめ設定した音声言語や字幕言語にならない。	▶	・DVDにその言語が記録されていません。	
	視聴制限したときの暗証番号を忘れた。 初期設定をすべて工場出荷時の状態にもどしたい。	▶	・以下の操作を行うと本機が工場出荷時の状態に戻り、視聴制限なども解除することができます。 停止状態で本体の［I◀◀］［II］［▲］の3つのボタンを、同時に3秒以上押してください。（テレビ画面に“オールクリア”表示が出て、初期状態に戻ると消えます。）	
リモコン	リモコンが働かない。	▶	・本体の電源が切れている場合は入れてください。 ・乾電池の向き（+、−）を確認してください。	7
異常表示	“Check Disc”が表示された。	▶	・ディスクが汚れているので、きれいにふいてください。 表示が消えない場合は、修理を依頼してください。	54
	“H□□”が表示された。（□は数字です。異常の状態によって異なります。）	▶	・本機の電源を1度入／切してみてください。 表示が消えない場合は、修理を依頼してください。	

修理を依頼するときは

- お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご依頼ください。
- 異常表示が出ている場合は、その表示（サービス番号）をお知らせください。（例：サービス番号“H01”）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所（コロムビアサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

定格

電源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	19 W（電源「スタンバイ」時　約1.5 W）

TV形式	NTSC
質量	約5.4 kg
外形寸法	434（幅）×266（奥行き）×107（高さ）mm（突起物含まず）
許容周囲温度	＋5～35 ℃
許容相対湿度	5～90 %RH（結露なきこと）
対応ディスク	(1) DVD-Audio/DVD-Video 12 cm片面1層、12 cm片面2層 12 cm両面（各面1層）、 8 cm片面1層、8 cm片面2層 8 cm両面（各面1層） (2) コンパクトディスク（含むビデオCD） 12 cmディスク、8 cmディスク
コンポーネント映像出力	出力端子　：ピンジャック （Y：緑、C_B：青、C_R：赤）
S映像出力	Y出力レベル：1 Vp-p（75 Ω） C出力レベル：0.286 Vp-p（75 Ω）
	出力端子：S端子
	端子数：2系統
映像出力	出力レベル：1 Vp-p（75 Ω）
	S/N：65 dB以上
	出力端子：ピンジャック
	端子数：2系統
音声出力	出力レベル(−20 dB)：200 mVrms（1 kHz、10 kΩ）
	出力端子：ピンジャック
	端子数： 2 chミックス出力：2系統 5.1 chディスクリート出力（5.1 ch）：1系統

音声出力特性	(1) 周波数特性 2 Hz～88 kHz（DVD-Audio） 2 Hz～44 kHz（DVD-Video） 2 Hz～20 kHz（CD）[EIAJ] (2) S/N（EIAJ） 115 dB（CD） (3) ダイナミックレンジ（EIAJ） 106 dB（DVD-Audioリニア音声） 100 dB（CD）[EIAJ] (4) ひずみ率 0.0012 %（DVD、LPCM） 0.0017 %（CD）
デジタル音声出力	出力端子 光デジタル出力　：光コネクター 同軸デジタル出力　：1系統
ヘッドホン端子	出力端子　：ステレオ標準タイプ 出力レベル(−20 dB)：180 mVrms（1 kHz、32 Ω）

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

本機は日本国内専用です。海外では電源電圧やTV方式が異なるため使用できません。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100 Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100 V以外の電源には絶対に接続しないでください。



MEMO

日本コロムビア株式会社

本　社　〒107-8011　東京都港区赤坂4-14-14
TEL：（03）3584-8111（大代表）

後日のためにご記入しておいてください。			
購入店名：		電　話（　　-　　-　　）	
ご購入年月日：	年	月	日

Printed in Japan
VQT8667　　F1